

JAPAN SMALL ANIMAL VETERINARY ASSOCIATION

JSAVA NEWS

No.183 Jan. 2025

一般社団法人 日本小動物獣医師会

〒105-0004 東京都港区新橋5-12-2 鴻盟社ビル5階
TEL. (03) 5843-7548 FAX. (03) 5843-7549

<https://jsava.org>



—メールアドレス登録のお願い—

様々な情報をお伝えするとともに、会員の皆様からもご意見を頂いて参りたいと思っております。

メールアドレスの登録はホームページの会員ページよりお願いいたします。



<https://jsava.org/acmailer3/regist.html>
当会メルマガのご登録をお願いします。

獣医師倫理綱領

獣医学および獣医療は、動物の疾病の治療ならびに動物の健康の維持と増進を図ることにより、人の健康で文化的な生活の確保と福祉に寄与するもので、獣医師はその責務の重要性を認識し、自らの専門知識と技能を人のため、社会のために役立てるものである。

1. 獣医師は動物の生命を尊重し、人との関わりを深く自覚することによって、平和な社会の発展とより良い環境の確立に努める。
2. 獣医師は職務上の本分を自覚することによって、人の健康で文化的な生活の維持と福祉の増進に努める。
3. 獣医師は動物福祉の精神の基に、動物の苦痛の緩和と身体的障害の軽減に努める。
4. 獣医師は自らの職務に誇りと責任を自覚し、良識ある社会人としての人格と教養を高めるように心掛ける。
5. 獣医師は常に獣医学の知識と技術の習得に努めるとともに、その進歩・発展に尽くす。
6. 獣医師は適切かつ適正な獣医業に心掛けるとともに、互いに尊敬し、連携と協調の下に公正な獣医療の発展に努める。
7. 獣医師は人と動物の絆を尊重し、誠実さとやさしさをもって獣医療の内容をよく説明し、信頼を得るように努める。
8. 獣医師は獣医学と獣医療を通して、社会の発展に尽くすとともに、法令の遵守および法秩序の形成に努める。

CONTENTS

●会長新年挨拶	4
●令和6年度 第3回理事会報告	5
●令和6年度 第4回理事会報告	6
●令和6年度 第5回理事会報告	8
●上半期監査報告	11
●委員会報告	
○総務委員会	19
○獣医事対策委員会	19
○学術委員会	20
○動物愛護社会福祉委員会	22
○災害対策委員会	23
○動物診療助手認定委員会	24
●学術企画	
○肺高血圧症を理解する 第4回 肺高血圧症の診断および治療②	26
○動物が受け入れやすい獣医療を目指すためにできること	37
○胃苓湯	48
●頭の体操	51
●コラム	
○トラブルアンケートについてのご報告	53
○アンケートについて	58
●インフォメーション	
○身体障がい者補助犬募金の振込について	60
○令和6年6月から10月末日までの新入会員	61
○補助犬募金協力動物病院一覧	62
●編集後記	63

会長挨拶

一般社団法人日本小動物獣医師会
会長 長崎 淳一

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より本会の活動にご理解、ご協力を頂き役員一同を代表して厚く御礼申し上げます。

私が代表理事（会長）として新年のご挨拶を申し上げますのも、今回で4回目となりました。

この間新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが2類から5類へ移行し、昨年、また各地で自然災害が発生し、診療に欠かせない薬剤の製造中止や長期欠品状況など、大小様々な周囲環境の変化があり、それに伴って本会の活動も変化しました。

先ず、コロナ禍以降の本会各委員会の活動です。以前は対面での委員会開催が基本でしたが、現在は半数以上がリモートによる会議になっております。移動時間、会議開催時間等の制約が緩和され委員の負担が大分軽減されました。対面では年間三回が基本の委員会開催でしたが、委員会によっては毎月リモート会議が実施され委員間の意思疎通が図られ活発な討議が行われています。

昨年大きくリニューアルしたホームページも充実が図られています。当初は日小獣事務局からのご案内、学術を中心とした講演の配信から始まりましたが、現在は獣医事対策委員会、災害対策委員会等からの情報提供も行われています。また動物診療助手認定委員会では2000人を超える当会認定動物診療助手のデータベース化を行いホームページ上での「動物診療助手届出」、動物病院スタッフセミナー実施を図っております。会員の皆様はホームページにマイページを作成されご利用いただけますようお願い致します。

さて、昨年一年を振り返りますと1月1日に発災した「能登半島地震」、9月の「能登半島豪雨」をはじめとする各地での豪雨災害など大規模災害が多く発生した一年だったといえると思います。8月8日に発生した日向灘沖の地震の後発令された「南海トラフ地震情報（巨大地震注意）」では1週間の注意期間、私達は不安な日々を送りました。

た。いつどこで発生するかわからない災害に対して、社会インフラとしての役割を持つ私達獣業界も災害対策は避けて通れない問題です。昨年10月にお届けした「動物病院お守りノート」に同封いたしました災害対策委員会からの「災害時の事業継続計画作成について」お目通し頂けたでしょうか？BCP（business continuity planning）事業継続計画、最近耳にすることが多くなった文字です。動物病院では作成されている所はあまり多くは無いと思いますが、新年にあたり一度ご自分の病院に関して「BCP」をお考えになっては如何でしょうか。災害発生時、基本はご自身、家族、スタッフの生命を守る事。次は出来るだけ早期に病院での診療を再開することです。病院の立地条件、地域のハザードマップ、再確認する時期ではないでしょうか？患者様の「同行避難」に関する情報提供も重要課題です。

診療業務に加えて社会インフラとしての動物病院の役割、日小獣としても今年の課題として取り組んでいきたいと思っています。

年初から災害の話題が多くなりましたこと大変恐縮です。日小獣は今年も様々な分野で、明日の診療に役立つ情報をお届けできるよう活動してまいります。

最後に会員の皆様とご家族ならびに病院スタッフの皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



理事会報告

令和6年度 第3回理事会報告

開催日：令和6年7月28日

開催場所：TKP新橋汐留ビジネスセンター
カンファレンスルーム302

総役員数：理事14名、監事2名

出席役員数：理事14名、監事2名

報告事項

- I. 令和6年度第2回理事会協議事項について
・令和6年度第2回理事会協議及び承認事項の確認

II. 会務報告

1. 会議

- (1) 第16回定時社員総会
令和6年5月26日
- (2) 令和6年度第2回理事会
令和6年5月26日

2. 人事関連事項

- (1) 会員の入退会(5月13日～7月12日受付)
- ・団体所属会員の入会 10名
 - ・団体所属会員の退会 23名
 - ・個人会員の入会 5名
 - ・個人会員の退会 5名
 - ・準会員の入会 3名
 - ・賛助会員・団体の入会 1社
 - ・賛助会員・団体の退会 2社

(2) 顧問の異動

- ・和歌山県獣医師会長

3. 各委員会等関連事項

(1) 総務委員会

- ・メルマガ新規登録者5月分5名、6月分3名
- ・愛玩動物看護師指定講習会受講状況(令和6年7月26日現在)

既卒者・在学生

Aコース受講者数3名、修了者数0名、未修了者数3名、修了証明書発行数0名

Bコース受講者数130名、修了者数76名、

未修了者数54名、修了証明書発行数76名
現任者(令和6年7月20日終了)

Cコース受講者数7名、修了者数7名、
未修了者数0名、修了証明書発行数7名

Dコース受講者数5名、修了者数5名、
未修了者数0名、修了証明書発行数5名

Eコース受講者数129名、修了者数119名、
未修了者数10名、修了証明書発行数117名

(2) 獣医事対策委員会

- ・第1回委員会 令和6年6月26日
- ・無麻酔歯石除去に関する注意喚起ポスター
JSAVA NEWS182号に同封配布

(3) 学術委員会

- ・第2回委員会 令和6年6月28日
- ・第3回委員会 令和6年7月26日
- ・オンラインセミナー
- ・学術記事

(4) 動物愛護・社会福祉委員会

- ・第1回委員会 令和6年7月1日

(5) 災害対策委員会

- ・第2回委員会 令和6年7月2日

(6) 広報委員会

- ・第2回委員会 令和6年6月18日
- ・JSAVA NEWS182号発行

(7) 動物診療助手認定委員会

- ・第1回委員会 令和6年6月2日
- ・養成機関認定(令和6年7月26日現在、
申請順)

9校(岡山理科大学専門学校、沖縄ペット
ワールド専門学校、神戸ブレイメン動物専
門学校、東京環境工科専門学校、広島アニ
マルケア専門学校、MCL盛岡ペットワ
ールド専門学校、吉田学園動物看護専門学
校、DVMS どうぶつ医療学院、東京ブレイ
メン動物専門学校)

(8) その他

- ・日本獣医師会第81回通常総会 令和6年
6月26日 明治記念館

- 長崎会長、松木・佐藤両副会長
- ・企業面談・打ち合わせ
- トアエイヨー (株) 令和6年6月2日
- 長崎会長、林専務理事
- アサヒグループ食品 (株) 令和6年6月19日
- 長崎会長、松木副会長
- (株) 学窓社 令和6年6月19日
- 長崎会長、松木副会長
- 日本PBM Healing (株) 令和6年6月26日
- 長崎会長、松木副会長

(9) 後援関係

- ・WJVF第15回大会後援 ホテルニューオータニ大阪 令和6年7月27・28日
- ・第26回全国学校飼育動物研究大会後援 ビジョンセンター西新宿 令和6年8月25日

協議事項

1. 会員の入退会について

- ・入会：個人会員1名
- ・退会：賛助会員（団体）2社

*個人会員1名の入会を承認し、賛助会員（団体）2社の退会を確認する。

2. 会員への配布物について

- ・10月に会員への配布物として「愛玩動物看護師動物病院実習お守りノート」学窓社 定価（本体価格3,500円+税）を配布する。
- ・裏表紙に本会ロゴを印刷し、見積額4,845,500円（1冊1,750円×2,500冊、配送料30,000円、消費税440,500円）、発送費用は50～60万円程となる。
- ・動物病院スタッフ教育に利用できる書籍であるが、すべての会員が満足するとは思えないので、配布書籍がなければ配布しない選択もある。

*候補書籍の配布を決議する。

3. BCP（事業継続計画）について

- ・委員会が作成したBCPサンプルを10月書籍配布時に同封して、会員診療施設においてBCPを作成するときの疑問に対して回答する。
- ・BCP作成マニュアルの書籍化は考えていない。

*BCPサンプルの配布を承認する。

4. 講師料について

- ・講演会等の講師料は研修講習会開催要領で規定している1時間20,000円に源泉所得税を加えた額としている。
 - ・獣医事対策委員会より時給計算ではなく1回5～10万円の講師料が提案される。
 - ・現在の講師料であれば半日3時間で60,000円、1日6時間で120,000円の計算となるので1回5～10万円よりも高額となる。
 - ・オンラインセミナー動画等の短時間動画は従来の講師料とは別計算が適当である。
 - *通常の講演会の講師料とオンラインセミナー等の短時間動画作成の講師料を別にして講師料の設定を再提出することを承認する。
5. その他、会務運営事項について
- ・選挙管理委員の任期が10月頃になるため、次回の理事会において選挙管理委員の選任を行いたいので、候補者を事務局に連絡する。監事講評ののちに令和6年度第3回理事会を終了する。

令和6年度 第4回理事会報告

開催日：令和6年9月23日

開催場所：TKP新橋汐留ビジネスセンター
カンファレンスルーム101

総役員数：理事14名、監事2名

出席役員数：理事14名、監事2名

報告事項

I. 令和6年度第3回理事会協議事項について

- ・令和6年度第3回理事会協議及び承認事項の確認

II. 会務報告

1. 会議

(1) 令和6年度第3回理事会

令和6年7月28日

(2) 令和6年度第2回会務運営役員会

令和6年7月28日

令和6年度第3回会務運営役員会

令和6年9月23日

2. 人事関連事項

- (1) 会員の入退会（7月16日～9月6日受付）
- ・団体所属会員の入会 10名

- ・団体所属会員の退会 13名
 - ・個人会員の退会 1名
 - ・準会員の入会 2名
3. 各委員会等関連事項
- (1) 総務委員会
- ・第2回委員会 令和6年8月30日
 - ・メルマガ新規登録者7月分5名、8月分2名
 - ・愛玩動物看護師指定講習会受講状況（令和6年9月20日終了）
既卒者・在学生
Aコース受講者数8名、修了者数8名、未修了者数0名、修了証明書発行数8名
Bコース受講者数160名、修了者数154名、未修了者数6名、修了証明書発行数154名
現任者
Cコース受講者数7名、修了者数7名、未修了者数0名、修了証明書発行数7名
Dコース受講者数5名、修了者数5名、未修了者数0名、修了証明書発行数5名
Eコース受講者数128名、修了者数119名、未修了者数9名、修了証明書発行数117名
合計受講者数 308名、修了者数293名、未修了者数15名、修了証明書発行数291名
- (2) 獣医事対策委員会
- ・第2回委員会 令和6年9月3日
 - ・獣医事講演会 令和6年7月28日 藤沢市市民会館
- (3) 学術委員会
- ・第5回委員会 令和6年8月30日
 - ・臨時委員会 令和6年9月10日
 - ・オンラインセミナー
- (4) 動物愛護・社会福祉委員会
- ・第2回委員会 令和6年7月26日
 - ・第3回委員会 令和6年9月3日
 - ・（公財）日本補助犬協会訪問 令和6年9月8日
松木部長、松本委員長、崎山・太田委員
- (5) 災害対策委員会
- ・第3回委員会 令和6年8月7日
- (6) 広報委員会
- ・JSAVA NEWS183号発行準備
- (7) 動物診療助手認定委員会
- ・第2回委員会 令和6年9月16日
- ・養成機関認定（令和6年9月20日現在、申請順）
12校（岡山理科大学専門学校、沖縄ペットワールド専門学校、神戸ブレイメン動物専門学校、東京環境工科専門学校、広島アニマルケア専門学校、MCL盛岡ペットワールド専門学校、吉田学園動物看護専門学校、DVMs どうぶつ医療学院、東京ブレイメン動物専門学校、国際ペット専門学校福井、専門学校大阪ビジネスアカデミー、愛犬美容看護専門学校）
- (8) 選挙管理委員会
- ・第1回委員会 令和6年8月18日
- (9) その他
- ・藏内日本獣医師会会長WVA会長就任祝賀会
令和6年9月20日 明治記念館
長崎会長、富山監事
 - ・企業面談・打ち合わせ
日本PBM Healing（株） 令和6年9月23日
長崎会長、松木副会長
- (9) 後援関係
- ・日本臨床獣医学フォーラム年次大会2024
ホテルニューオータニ東京
令和6年9月21・22日
- 協議事項**
1. 会員の入退会について
 - ・理事会承認が必要な入会なし
 2. 選挙管理委員について
 - ・任期中の選挙管理委員から留任の承諾を得る。
 - ・次期選挙管理委員の推薦（敬称略）
木村 譲（東京都・個人会員）
青木 泰道（神奈川県獣医師会）
崎山 玲子（神奈川県獣医師会）
永富 靖（兵庫県開業獣医師会）
国政 省（岡山県獣医師会）
- *推薦された5名の選挙管理委員を承認する。
3. 各種規程の変更等について
 - ・役員選任規程は実務を行っている選挙管理委員から意見があった開票後の投票用紙の保管について規定する。
 - ・被災会員への見舞金等に関する支給規程は災

害対策委員会と総務委員会において協議している
るので、規程案ができ次第理事会に提出する。

*役員選任規程の変更を承認する。

4. 講師料について

- ・講演会等の講師料は研修講習会開催要領で規定されているが、オンラインセミナーにおける規定がない。
- ・オンラインセミナーでは講義時間が短いため、最初の1時間は25,000円、その後30分ごとに10,000円とし、同時配信において進行を行う委員に1回10,000円、配信のための実費を支給する。
- ・獣医事講演会における講師料は1回5～10万円、配信用ビデオ作製は制作料として2本15万円とする。

*講師料の規定を承認し、学術・獣医事講演会それぞれの実施要項を作成する。

5. その他、会務運営事項について

- ・会員への日本補助犬協会訪問報告の方法、動物の愛護及び管理に関する法律改正による56日規制の広報ポスターについて協議する。
監事講評ののちに令和6年度第4回理事会を終了する。

令和6年度 第5回理事会報告

開催日：令和6年12月1日

開催場所：TKP新橋汐留ビジネスセンター
カンファレンスルーム102

総役員数：理事14名、監事2名

出席役員数：理事11名、監事2名

報告事項

- I. 令和6年度第4回理事会協議事項について
- ・令和6年度第4回理事会協議及び承認事項の確認

II. 会務報告

1. 会議

- (1) 令和6年度第4回理事会
令和6年9月23日
- (2) 令和6年度第3回会務運営役員会

令和6年9月23日

令和6年度第4回会務運営役員会

令和6年12月1日

(3) 今後の予定

- 予算編成会議 令和7年2月9日
令和6年度第5回会務運営役員会
令和7年3月2日
- 令和6年度第6回理事会
令和7年3月2日

2. 人事関連事項

(1) 会員の入退会(9月9日～11月11日受付)

- ・団体所属会員の入会 3名
- ・団体所属会員の退会 27名(23名は会費2年間未納のため)
- ・個人会員の入会 1名
- ・個人会員の退会 7名(会費2年間未納のため)
- ・準会員の入会 5名

3. 各委員会等関連事項

(1) 総務委員会

- ・第3回委員会 令和6年10月22日
オンライン会議 出席5名
カスタマーハラスメントアンケート調査について
- ・メルマガ新規登録者10月分17名

(2) 獣医事対策委員会

- ・第3回委員会 令和6年11月6日
本会会議室 出席5名、小堀顧問弁護士同意書について、トラブルアンケート結果について、講演会等について

(3) 学術委員会

- ・第6回委員会 令和6年10月4日
オンライン会議 出席8名、長崎会長学術講演会について、オンラインセミナーについて、企業セミナーについて、JSAVA NEWS掲載記事について、講演会等開催要領について
- ・第7回委員会 令和6年11月1日
オンライン会議 出席8名、長崎会長学術講演会について、オンラインセミナーについて、企業セミナーについて、JSAVA NEWS掲載記事について、講演

- 会等開催要領について
- (4) 動物愛護・社会福祉委員会
- ・第4回委員会 令和6年10月1日
オンライン会議 出席6名
動愛法啓発ポスターについて、身体障がい者補助犬助成申請者へのアンケートについて、日本身体障害者補助犬学会について、ホームページへの掲載について
 - ・第5回委員会 令和6年10月29日
オンライン会議 出席6名
動愛法啓発ポスターについて、身体障がい者補助犬助成申請者へのアンケートについて、日本身体障害者補助犬学会について、ホームページへの掲載について
- (5) 災害対策委員会
- ・第4回委員会 令和6年9月18日
オンライン会議 出席6名
被災会員への見舞金支給について、被災会員への支援規程について、被災報告について
 - ・災害見舞金支給：2件(20,000円×2件)
- (6) 広報委員会
- ・第3回委員会 令和6年11月14日
オンライン会議 出席4名、林専務理事
JSAVA NEWS183号編集
- (7) 動物診療助手認定委員会
- ・養成機関認定（令和6年11月30日現在、申請順）
19校（岡山理科大学専門学校、沖縄ペットワールド専門学校、神戸ブレイメン動物専門学校、東京環境工科専門学校、広島アニマルケア専門学校、MCL盛岡ペットワールド専門学校、吉田学園動物看護専門学校、DVMs どうぶつ医療学院、東京ブレイメン動物専門学校、国際ペット専門学校福井、専門学校大阪ビジネスアカデミー、愛犬美容看護専門学校、ブレイメン動物専門学校、大阪ブレイメン動物専門学校、札幌どうぶつ専門学校、経専北海道どうぶつ専門学校、宮崎ペットワールド専門学校、国際ペットワールド専門学校、大阪動植物海洋専門学校）
- ・動物診療助手第4回認定試験受験申請者：養成機関19校347名、個人6名
（愛犬美容看護専門学校：14名、吉田学園動物看護専門学校：7名、札幌どうぶつ専門学校：35名、経専北海道どうぶつ専門学校：3名、MCL盛岡ペットワールド専門学校：27名、国際ペットワールド専門学校：62名、東京環境工科専門学校：12名、東京ブレイメン動物専門学校：21名、DVMs どうぶつ医療学院：4名、国際ペット専門学校福井：14名、専門学校大阪ビジネスアカデミー：2名、大阪ブレイメン動物専門学校：20名、大阪動植物海洋専門学校：3名、神戸ブレイメン動物専門学校：54名、岡山理科大学専門学校：8名、広島アニマルケア専門学校：7名、ブレイメン動物専門学校：10名、宮崎ペットワールド専門学校：20名、沖縄ペットワールド専門学校：24名）
- (8) その他
- ・認定校会議 令和6年11月10日
本会会議室及びオンライン会議 出席4名
出席認定校5校（札幌どうぶつ専門学校、北海道エコ・動物自然専門学校、国際ペットワールド専門学校、中央動物看護専門学校、神戸動植物環境専門学校）
令和6年度予備試験・国家試験の状況について、愛玩動物看護師教育について、動物診療助手認定事業について、認定校会議開催方法について
4. 後援関係
- ・レインボークラブ「市民公開講座」 令和6年12月8日 栃木県動物愛護指導センター
 - ・インターペット東京・大阪2025 令和7年4月3日～6日 東京ビッグサイト
令和7年6月13日～15日 インテックス大阪

協議事項

1. 会員の入退会について

- ・入会：個人正会員2名

*個人正会員2名の入会を承認し、入会時期を確認する。

2. 令和6年度上期監査について

- ・総務部長より令和6年度上期（4月1日～9月30日）の事業報告及び収支中間決算を説明する。
- ・監事より監査報告を説明する。

*令和6年度上期監査及び監事による監査報告を確認する。

3. 令和7年度事業計画案及び予算要望について

- ・会長作成の令和7年度事業計画案を提示し、方針が説明される。
- ・各委員会は令和7年度事業計画案及び予算要望を令和7年1月27日までに作成し、部長に提出する。
- ・部長は部としての総括をまとめて令和7年1月31日までに提出する。
- ・提出された事業計画案及び予算要望をもとに令和7年2月9日に予算編成会議を開催して

令和7年度事業計画案及び収支予算案を作成する。

- ・令和7年3月2日開催予定の理事会において令和7年度事業計画及び収支予算を決定する。

*各委員会による令和7年度事業計画案及び予算要望の作成・提出を承認する。

4. 令和6年度第7回学術委員会決定事項について

- ・講演会・オンラインセミナー・掲載記事における経費について委員会で決定する。
- ・講演会等の開催要領を作成する。

*決定事項を確認、開催要領ができ次第、理事会で検討して承認することを確認する。

5. その他、会務運営事項について

- ・身体障がい者補助犬助成を申請している会員を対象にして身体障害者補助犬に関するアンケートを実施する。
- ・アンケート回収を確認するため記名でのアンケートとする。
- ・アンケート結果はJSAVA NEWSで公表する。

監事講評ののちに令和6年度第5回理事会を終了する。

掲載広告募集

JSAVAニュースに広告を掲載しませんか？

詳しくは、事務局までお問い合わせください。

一般社団法人日本小動物獣医師会事務局

〒105-0004 東京都港区新橋5-12-2 鴻盟社ビル5階

TEL (03)5843-7548 FAX (03)5843-7549

先生は日小獣ホームページに最近アクセスなさいましたか？

4月1日から変更

URL : <https://jsava.org>

ユーザーID : jsava

パスワード : nhsm1971

QRコードからアクセス→



令和6年度上半期監査会報告

開催日：令和6年10月13日

開催場所：本会会議室

出席者：会長：長崎 淳一

副会長：松木 正信、渡邊 言之、佐藤 順子

専務理事兼総務部長：林 健一

監事：富山 久利、西川 清孝

事務局：谷浦 仁美

事業報告

社員総会

- ・第16回定時社員総会 令和6年5月26日 出席67名（登録社員数85名）

役員会

・理事会

第1回 令和6年4月28日 出席理事13名、監事2名

第2回 令和6年5月26日 出席理事13名、監事2名

第3回 令和6年7月26日 出席理事14名、監事2名

第4回 令和6年9月23日 出席理事14名、監事2名

・会務運営役員会

第1回 令和6年4月28日

第2回 令和6年7月26日

第3回 令和6年9月23日

監査会

- ・令和5年度期末監査会 令和6年4月14日

委員会

部	委員会	回数	部	委員会	回数
総務	総務	2	プロジェクト	広報	1
獣医事	獣医事対策	2		動物診療助手認定	2
学術	学術	5		選挙管理	1
事業	災害対策	4			
	動物愛護・社会福祉	3			

打ち合わせ会議

- ・日本全薬工業（株） 4月11日
- ・中日アド企画及びTKP新橋汐留ビジネスセンター 4月23日
- ・12薬局 4月23日
- ・中日アド企画及びTKP新橋汐留ビジネスセンター 4月25日
- ・学窓社 6月19日
- ・学窓社 9月24日

その他

- ・第13回インターペット展 東京ビックサイト 4月7日
- ・(公社)日本獣医師会「第81回通常総会」 明治記念館 6月26日
- ・日本獣医師会藏内会長「WVA会長就任祝賀会」 明治記念館 9月20日

後援関連

- ・(公社)日本動物病院協会「年次大会2024」11月2・3日
- ・全国学校飼育動物研究会「第26回全国学校飼育動物研究大会」8月25日
- ・(一社)日本臨床獣医学フォーラム「第26回年次大会2024」9月21・22日

企業面談

- ・日本PBM Healing (株) 4月7日
- ・くすりの窓口 4月23日
- ・トーアエイヨー (株) 6月2日
- ・アサヒグループ食品 (株) 6月19日
- ・日本PBM Healing (株) 6月26日
- ・アサヒグループ食品 (株) 9月16日
- ・日本PBM Healing (株) 9月23日

会員の異動

区分	4月1日	入会	退会	所属変更	9月30日
正会員	2,321名	29名	74名	1名	2,275名
賛助会員団体	54社	2社	3社	-	53社
賛助会員個人	1名	0	0	0	1名
準会員	6名	6名	0	0	12名

発刊文書

- ・日小獣第1号から69号まで

刊行物

- ・JSAVA NEWS181号 4月8日発行
- ・JSAVA NEWS182号 7月8日発行

講演会等

- ・大学への講師派遣

開催日：5月16日

開催場所：日本獣医生命科学大学B313講義室

講師：林 健一 (本会副会長)

内容：獣医学科1年生約100名に獣医学概論 (小動物獣医療における倫理) を講義

- ・獣医事講演会

開催日：7月28日

開催場所：藤沢市民会館第二会議室

講師：小堀 優 (みらい総合法律事務所 本会顧問弁護士)

演題：毎日の診療でのトラブル、クレームに対する対処法

参加者数：20名

共催：神奈川県獣医師会茅ヶ崎・寒川、湘南、藤沢支部

・オンラインセミナー

4/25 色々な生検を動画で見よう1

杉山 大樹 (ファミリー動物病院)

5/16 猫伝染性腹膜炎を正しく理解する

高野 友美 (北里大学獣医学部獣医学科獣医伝染病学研究室・教授)

5/23 色々な生検を動画で見よう2

杉山 大樹 (ファミリー動物病院)

6/27 がん薬物療法 (化学療法など) の基礎を整理して学ぶ

杉山 大樹 (ファミリー動物病院)

7/20 猫にやさしい病院づくり

桑原 岳 (日本ねこ医学会執行理事・大阪市獣医師会副会長・くわはら動物病院)

7/25 日常診療で行う眼科検査のすすめ方～光源とレンズでここまでできる!～

小林 義崇 (アニマルアイケア東京動物眼科醫院)

8/22 眼の異常を発見した際に行う眼科検査の基本～眼圧計とスリットランプをもっと活躍させよう～

小林 義崇 (アニマルアイケア東京動物眼科醫院)

8/29 犬の咳嗽に対する系統的アプローチ法

谷口 哲也 (犬・猫の呼吸器臨床研究会診療基準班長・小動物呼吸器疾患研究グループ・画像診断学会検定医・循環器学会認定医・兵庫ペット医療センター東灘病院)

9/26 眼科疾患をしっかり鑑別しよう～眼にエコーをあててみよう～

小林 義崇 (アニマルアイケア東京動物眼科醫院)

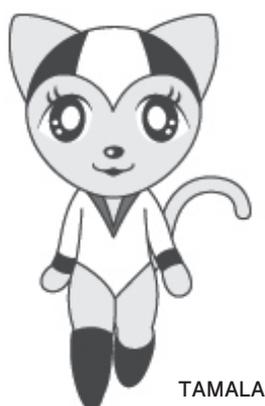
・愛玩動物看護師指定講習会

既卒者・在学者 (A・Bコース) : 令和6年5月21日～9月20日

現任者 (C・D・Eコース) : 令和6年5月21日～7月20日

コース別受講者数

コース	受講者数	修了者数	未修了者数
A	8名	8名	0
B	160名	154名	6名
C	7名	7名	0
D	5名	5名	0
E	128名	117名	11名
合計	308名	291名	17名



TAMALA

収支中間報告

<一般会計>

収入の部

科 目	予 算 額	中間決算額	摘 要
I. 会費収入	41,649,000	39,293,000	
1. 正会員	39,100,000	36,499,000	17,000 円× 2,103 名 前年度分 17,000 円× 44 名
2. 賛助会員	2,500,000	2,717,000	団体 50,000 円× 48 社 前年度分 50,000 円× 6 社 個人 17,000 円× 1 名
3. 準会員	49,000	77,000	7,000 円× 11 名
II. 事業収入	4,150,000	407,602	
1. 出版関係収入	800,000	284,602	
2. 研修会費	50,000	0	
3. 動物診療助手関係	3,300,000	123,000	登録料 3,000 円× 41 名
III. その他収入	3,050,500	1,572,721	
1. 広告料	3,000,000	1,567,850	
2. 利息	500	1,271	
3. 雑収入	50,000	3,600	
当期収入合計額	48,849,500	41,273,323	
前期繰越収入差額	29,113,881	29,113,881	
収入合計額	77,963,381	70,387,204	

支出の部

科 目	予 算 額	中間決算額	摘 要
I. 事業推進費	38,599,000	177,665,943	
1. 会議費	8,000,000	5,152,290	
2. 総務部費	1,500,000	214,902	
3. 獣医事部費	1,500,000	299,008	
4. 学術部費	2,600,000	619,794	
5. 事業部費	2,030,000	190,880	
6. 事業調査委託費	50,000	0	
7. 選挙管理委員会	600,000	195,080	
8. プロジェクト関係費	6,979,000	3,387,898	
9. 関連団体連携費	1,000,000	467,881	
10. 刊行物関係費	7,000,000	0	

11. ホームページ管理費	2,340,000	2,745,050	
12. 福利厚生費	5,000,000	4,393,160	
II. 管理費	22,850,000	7,554,425	
III. 退職引当預金	600,000	6	
IV. 予備費	15,914,381	0	
当期支出合計額	77,963,381	25,220,374	
当期収支差額	△ 29,113,881	16,052,949	
次期繰越収支差額	0	45,166,830	

<積立特別会計>

収入の部

科 目	予 算 額	中間決算額	摘 要
I. 雑収入		2,783	
1. 利息		2,783	りそな銀行
当期収入合計額	0	2,783	
前期繰越収支差額	44,906,497	44,906,497	
収入合計額	44,906,497	44,909,280	

支出の部

科 目	予 算 額	中間決算額	摘 要
I. 管理費		660	
1. 雑費		660	支払手数料
当期支出合計額	0	660	
当期収支差額	0	2,123	
次期繰越収支差額	44,906,497	44,908,620	

小動物医療機器の パイオニア

診察台・手術台
ケージ・各種医療機器
開業セミナー・コンサルティング

**創業
75年**

株式会社 本郷いわしや

〒113-0033 東京都文京区本郷5丁目2番8号 TEL:03-5800-1848 FAX:03-5800-2225

本郷いわしや

検索

<身体障がい者補助犬特別会計>

収入の部

科 目	予 算 額	中間決算額	摘 要
I. 事業収入		1,318,629	
1. 身体障がい者補助犬募金		1,318,629	
II. 雑収入		86	
1. 利息		86	三井住友銀行
当期収入合計額	0	1,318,715	
前期繰越収支差額	9,497,834	9,497,834	
収入合計額	9,497,834	10,816,549	

支出の部

科 目	予 算 額	中間決算額	摘 要
I. 助成費		0	
1. 補助犬ユーザー		0	
II. 管理費		16,869	
1. 雑費		16,869	振込手数料他
当期支出合計額	0	16,869	
当期収支差額	0	1,301,849	
次期繰越収支差額	9,497,834	10,799,680	

<災害義援金特別会計>

収入の部

科 目	予 算 額	中間決算額	摘 要
当期収入合計額	0	0	
前期繰越収支差額	251,291	251,291	
収入合計額	251,291	251,291	

支出の部

科 目	予 算 額	中間決算額	摘 要
I. 管理費		550	
1. 雑費		550	支払手数料
当期支出合計額	0	550	
当期収支差額	0	△ 550	
次期繰越収支差額	251,291	250,741	

<災害基金特別会計>

収入の部

科 目	予 算 額	中間決算額	摘 要
当期収入合計額	0	0	
前期繰越収支差額	3,228,143	3,228,143	
収入合計額	3,228,143	3,228,143	

支出の部

科 目	予 算 額	中間決算額	摘 要
I. 管理費		400,550	
1. 災害見舞金		400,000	能登半島地震見舞金6名
2. 雑費		550	支払手数料
当期支出合計額	0	400,550	
当期収支差額	0	△ 400,550	
次期繰越収支差額	3,228,143	2,827,593	

<愛玩動物看護師指定講習会特別会計>

収入の部

科 目	予 算 額	中間決算額	摘 要
I. 事業収入	3,000,000	3,044,000	
1. 受講料	3,000,000	3,044,000	10,000円×290名、 8,000円×18名
II. 雑収入	0	3	
1. 利息	0	3	郵便貯金
当期収入合計額	3,000,000	3,044,003	
前期繰越収支差額	3,544,960	3,544,960	
収入合計額	6,544,960	6,588,963	

支出の部

科 目	予 算 額	中間決算額	摘 要
I. システム管理費	2,464,000	2,148,300	
1. 初期設定費	300,000	693,000	
2. 利用料	2,164,000	1,455,300	3か月分
II. 講習会関連費	900,000	998,223	

1. 動画編集費	300,000	330,000	
2. 講師料	600,000	668,223	20,000 円 / 時間 + 源泉徴収税
Ⅲ. 管理費	100,000	19,196	
1. 雑費	100,000	19,196	送料、支払手数料
当期支出合計額	3,464,000	3,165,719	
当期収支差額	△ 464,000	△ 121,716	
次期繰越収支差額	3,080,960	3,423,244	

監査報告

令和6年度上期の事業執行及び会計状況について会長より提出された事業報告、帳簿等の関係書類を詳しく監査した結果、正当であるものと認めます。

監事 富山 久利

監事 西川 清孝

監事意見

- ・役員・委員も2年目となり上期の事業は積極的に執行されているが、残り任期が半年程となり、理事の業務執行を理解して協力して業務執行にあたっていただきたい。
- ・賛助会員への優遇措置等を検討して、賛助会員として本会に入会していることのメリットを広報することが必要ではないか。
- ・特別会計となっている災害基金の名称・取扱い等について顧問会計士とも相談して検討し、災害時に適切な対応ができるように準備する。また、基金残高の妥当性の検討も必要である。



委員会報告

<総務委員会>

開催日：令和6年8月30日
 開催場所：オンライン会議
 出席者：会長：長崎 淳一
 部長：林 健一
 委員長：中山 聡太郎
 委員：木村 譲
 高橋 康樹
 弓倉 宏久

議題：

1. 災害支援規程の検討
2. 役員選任規程の変更について
3. 事務局長設置時の教務についての検討
4. その他

内容

1. 被災会員支援規程について災害対策委員会より提出された意見を反映するよう被災会員支援規程案の検討と改訂。再度詳細を詰めるため災害対策委員会と連携を取ることを確認。
2. 役員選任規程第10条（2）についての変更
 投票用紙の管理および投票済投票用紙の保管
 →投票用紙の管理、投票済投票用紙および2年間の開票済投票用紙の保管
 以上を決定承認
 次回理事会協議事項として提出することを決定
3. 事務局長設置時の教務については次年度までに状況を判断しながら事務局諸規程等変更を必要とした場合に対応することを決定承認。
4. 日本獣医学生協会への日小獣紹介文の確認を行い、文面を決定承認。

<獣医事対策委員会>

令和6年度第1回獣医事対策委員会開催報告について
 開催日：令和6年6月26日
 開催場所：本会会議室
 出席者：部長：渡邊 言之(オンライン)
 委員長：岩西 正雄
 副委員長：小西 治雄
 委員：吉本 留美子、井口 尚子
 顧問弁護士 小堀 優 (オンライン)

議題：

1. 次回トラブルアンケートのテーマ検討
2. 次回のショートビデオの制作について
3. 無麻酔歯石除去ポスター配布方法の確認について
4. 推薦同意書の制作準備について
5. 獣医療トラブルQ&Aの内容の見直し検討

内容

1. アンケートテーマもほぼ出尽くしたので、これで一旦アンケートは終了し次回JSAVA NEWSに今までの質問をまとめ添付することになった。
2. ショートビデオ制作について
 - 1) 広告についての法律の改正について
 - 2) 未納金回収方法について
 この様なテーマでこれから検討する。
3. ポスターが完成しましたので、7月JSAVA NEWS182号に同封いたします。
4. 推薦同意書は基本手術同意書、麻酔同意書、避妊去勢同意書を次回委員会までに制作し内容検討することで、決定しました。
5. 獣医トラブルQ&Aは、ほとんどの項目に法律が絡んでくるため、十分な検討が必要となり、一旦今回は、出版準備は見送ることに決定しました。

令和6年度第2回獣医事対策委員会開催報告

開催日：令和6年9月3日

開催場所：オンライン会議

出席者：部長：渡邊 言之
委員長：岩西 正雄
副委員長：小西 治雄
委員：吉本 留美子
井口 尚子
顧問弁護士：小堀 優

議題：

1. 神奈川県3支部合同講演会報告
2. 日小獣推薦同意書制作準備
3. トラブルアンケートまとめ
4. ショートビデオの制作費、対面での講演会費について

内容

1. 講演会について

主催：神奈川県3支部

日時：令和6年7月28日

場所：藤沢市民会館

参加人数：20名

小堀先生には、身近な問題にも丁寧に答えていただき、参加された先生方も大変満足されておられました。

2. 同意書について

来年度にはホームページに会員の方が自由にダウンロードしていただける同意書を掲載する予定です。

3. アンケートについて

今までのアンケートでの質問を小堀先生に回答していただきました。これに全体の感想など、小堀先生に総括頂き、委員長の挨拶文を付けて、来年1月のJSAVA NEWS183号に、掲載することが決定しました。

4. ショートビデオ、対面講演会費用について

委員会で話し合い時代に沿う費用に見直すことで決定しました。

<学術委員会>

学術委員会を下記の通り開催いたしました。

第3回：令和6年6月28日

第4回：令和6年7月26日

第5回：令和6年8月30日

第6回：令和6年10月4日

学術委員会ではオンラインセミナー配信を月1本の予定で行っております。

配信されたものは順次ホームページで過去配信動画として視聴できるようになっております。

3月以降配信されたもの、10月末日以降の予定は下記となります。

(締切の都合上JSAVA NEWS183号発刊時には既に終了しているセミナーも予定に記載しております)

詳細はホームページでご確認ください。

3/28 21:00~22:00

演題：腫瘍検査の基礎を学ぼう 2

講師：杉山 大樹

ファミリー動物病院（千葉県）

5/16 20:00~22:00

演題：猫伝染性腹膜炎を正しく理解する

講師：高野 友美

北里大学獣医学部獣医学科

獣医伝染病学研究室教授

5/23 21:00~22:00

演題：色々な生検を動画で見よう 2

講師：杉山 大樹

ファミリー動物病院（千葉県）

6/27 21:00~22:00

演題：がん薬物療法（化学療法など）の基礎を整理して学ぼう

講師：杉山 大樹

ファミリー動物病院（千葉県）

- 7/20 21:00~22:00
 演題：猫にやさしい病院づくり
 講師：桑原 岳
 日本ねこ医学会 執行理事
 大阪市獣医師会副会長
 くわはら動物病院 院長
 にならないために知っておくべきこと〜」
 講師：森田 希輔
 アニマルアイケア東京動物眼科醫院
- 7/25 21:00~22:00
 演題：日常診療で行う眼科検診のすすめ方 ～ 光源とレンズでここまでできる！～
 講師：小林 義崇
 アニマルアイケア東京動物眼科醫院
- 8/22 21:00~22:00
 演題：眼の異常を発見した際に行う眼科検査の基本 ～ 眼圧計とスリットランプをもっと活躍させよう～
 講師：小林 義崇
 アニマルアイケア東京動物眼科醫院
- 8/29 20:00~22:00
 演題：犬の咳嗽に対する系統的アプローチ法
 講師：谷口 哲也
 犬・猫の呼吸器臨床研究会 診療基準班長
 小動物呼吸器疾患研究グループ (SARS)
 画像診断学会検定医・循環器学会認定医
 兵庫ペット医療センター東灘病院
- 9/26 21:00~21:45
 演題：「眼科疾患をしっかりと鑑別しよう～眼にエコーをあててみよう～」
 講師：小林 義崇
 アニマルアイケア東京動物眼科醫院
- 10/24 21:00~21:45
 演題：「レッドアイの鑑別と治療」レッドアイに潜む緊急疾患～手遅れ
- ・10月末日以降開催予定セミナー
- 11/28 21:00~
 演題：「レッドアイの初期治療を誤らないために～消炎治療やプロスタグランジンは諸刃の剣～」
 講師：森田 希輔
 アニマルアイケア東京動物眼科醫院
- 12/26 20:30~22:00
 演題：心電図検査（基礎編）
 講師：中尾 周
 東海大学医学部医学科応用分子生理学研究室
 日本獣医循環器学会理事
- 1/23 20:30~22:00
 演題：心電図検査（臨床編）
 講師：藤原 尚輝
 フクダエム・イー工業株式会社
- ・日々の診療に直結する、新薬等のセミナーを企画検討しております。
 ゼノアック：エポベットについて 12月予定
 FUJIFILM：キサンサーテストについて 1～2月予定
 ベーリンガー：センベルコについて 2～3月予定
 ※予定は変更される場合があります。
- ・昨年と同じ形式で地方獣医師会との協賛セミナー（対面式）を開催します。
 （JSAVA NEWS183号発刊時には一部終了しております）
 （公社）千葉県獣医師会学術シリーズセミナー
 演題：「胸部・腹部外科の最新知見と実践的な手技を学ぶ」
 講師：徳永 暁（JASMINEどうぶつ総合

医療センター外科長)
場 所：ホテルプラザ菜の花 3階菜の花
千葉市中央区長洲1-8-1
TEL 043-222-8271

第1回：令和6年12月15日
14：00～17：30
「胸部外科について」

第2回：令和7年2月9日
14：00～17：30
「腹部外科について」

※本会会員は参加費無料

・JSAVA NEWSの学術ページを毎号1～3
タイトル、掲載予定しております。

183号掲載予定

肺高血圧症を理解する ～病態評価と治療法の
最前線～

第4回 肺高血圧症の診断および治療2
帯広畜産大学動物医療センター 循環器科
吉田 智彦 先生

第2回 常同障害、転位行動について（仮題）
ペテモどうぶつ医療センター相模原
石井 綾乃 先生

184号以降掲載予定
行動学シリーズ
ペテモどうぶつ医療センター相模原
石井 綾乃 先生

第3回：分離不安、恐怖症（仮題）
第4回：攻撃行動（仮題）
第5回：Pre-Visit-Pharmaceuticals (PVP)（仮
題）

セミナー等の予定はJSAVA NEWS、メルマガ、
ホームページでお伝えしていきます。

ご確認いただきますようお願いいたします。

学術委員会では今後も日々の診療に役立つセミ
ナーを多く企画したいと考えております。オンラ
インセミナーや協賛セミナー、JSAVA NEWS学

術記事等のリクエストがございましたら事務局ま
でご提案下さい。
よろしく願いいたします。

<動物愛護社会福祉委員会>

令和6年度第1回動物愛護社会福祉 委員会開催
報告

開催日：令和6年7月1日

開催場所：

出席者：部 長：松木 正信
委員 長：松本 明彦
副委員長：崎山 玲子
委 員：太田 雄一郎、
大門 由美子、
青木 泰道

議 題：1. 令和5年度委員会事業報告
2. 令和6年度委員会事業計画
3. その他

内 容

議題

1. 令和5年度委員会事業報告

前委員長の太田委員より前年度事業について聞
き取りした上で、

①身体障がい者補助犬募金箱の継続、設置施設
推進と募金のお祝い・募金額の集計

・令和5年度募金額が、約370万円であった。
・募金箱のシールを新しく更新
・JSAVA NEWSでの募金お願い並びに啓発
を1年間呼びかけた。

②身体障がい者補助犬助成金額の検討

・身体障がい者補助犬助成規程施行細則の助
成金額を年間1万円以内から2万円以内と
変更
・令和5年度の助成金額を15,000円の支給と
した

③日本身体障害者補助犬学会等への参加、情報
収集

④学校飼育動物の現状に関して、委員の経験談
や日獣年次大会（神戸）への学校飼育動物に

関するシンポジウムへの参加、情報収集

- ・学校飼育動物事業は現在日本獣医師会に移管されているが、委員5名中3名が学校飼育動物事業に関わっているため、当委員会でも1年を通じて現在の学校飼育動物の現状等について意見交換した。

主にこれらの点に関して、6回の委員会を開催し協議

2. 令和6年度委員会事業計画

- ①身体障がい者補助犬助成に関しては、令和5年度、同様に取り組んでいく
- ②委員会事業に関して
 - ・今後の展望として、委員会に地方の委員を増やす事が提案された。
 - ・事業の発信先を協議。会員、愛護団体、一般市民などどこに向けて事業をすすめるか委員長から確認がありまずは会員に向けて発信できるような事業内容を検討することにした。
 - ・事業内容候補
 - ・動物愛護法の改正により動物管理の方法に規制が敷かれていることを踏まえて、動物病院目線での改善点等を集約して、見直しなどの提言をまとめる。
 - ・補助犬以外の社会で活躍している動物たちの活躍ぶりの紹介。ファシリテッドッグの活躍等を取材。
 - ・盲導犬に対する社会の受け入れに関する、マナー等の接し方に関して
 - ・虐待に関する事例が院内で起きた場合、獣医師としての通報の仕方を含めて考えてみては（環境省のガイダンスを参考に）、また、虐待を通報したことによる、虐待が疑われる飼い主からの妬みや復讐に対する対策等はあるのかなどの検討
 - ・それぞれの項目について、早めに委員会を招集して、情報の発信方法等を検討していくこととした。

3) その他

- ・能登半島地震発生から半年たって、福井県

の大門先生より情報提供

- ・各県で災害時に行政機関との取り組みに関して、協定の有無に関して、各委員の神奈川県、横浜市、広島県の取り組みを紹介

令和6年度第2回動物愛護社会福祉 委員会開催報告

開催日：令和6年7月26日

開催場所：オンライン会議

出席者：部長：松木 正信

委員長：松本 明彦

副委員長：崎山 玲子

委員：太田 雄一郎、

大門 由美子、

青木 泰道

議題：1. 令和6年度委員会事業に関して
2. その他

1. 前回同様、総会資料に載せている内容で行うことを確認。
2. その他
 - ①動物愛護週間に各県の動物愛護フェスティバルへの取り組みに関して情報収集
委員から様々な意見が出され、今年度は、この案件に関しては、実施しないことになりました。
 - ②補助犬について
秋までに盲導犬協会等に取材に行き、取材内容等は、JSAVA NEWSに報告掲載して、啓発活動に努める。ホームページに委員会コーナーを作成し情報を提供する。SNSなど若い世代の会員がとつきやすい形の情報発信を各委員会と協力してできないか検討した。
 - ③動物虐待に関して
・虐待を未然に防ぐような啓発ポスターにする
 - ④動物の移動規制に関して
・動物愛護法の改正を受けて、会員に再周知するポスターの作成を検討する。

<災害対策委員会>

令和6年度第2回災害対策委員会

開催日：令和6年7月2日

開催場所：オンライン会議

出席者：部長：松木 正信

委員長：川野 悦生

委員：稲庭 瑞穂

夏目 里枝子、

大下 勲

大石 太郎

議題

1. 災害時のお見舞金規定の改正、支援金の改正について

被災地域の正会員に対してお見舞金を支給し、動物診療施設に対する復旧支援を目的とし、支援金を支給する。

委員会では、災害、地震、台風、水害等のお見舞金は、正会員1名につき一律20,000円とし、また支援金は、水害時 床下浸水50,000円 床上浸水100,000円とすることを決定した。以上の事項を理事会に諮り、被災会員支援規定を作成する予定。

2. 今後のBCP普及活動について

委員会で作成した、会員用のチェックリストのサンプルを、各病院で記入していただき、災害時に役立てていただくことを目的とする。それにはまず、会員にチェックリストサンプルを紙媒体で配布すると同時に、日小獣のホームページにも掲載し活用していただく（いずれも10月中旬に配布、掲載済）。

令和6年度第3回災害対策委員会

開催日：令和6年8月7日

開催場所：オンライン会議

出席者：部長：松木 正信

委員長：川野 悦生

委員：稲庭 瑞穂

夏目 里枝子

大下 勲

大石 太郎

議題

1. 被災会員支援金規程について

前回の委員会で決定した事項を、より細かく

規程を検討。

見舞金：大規模災害発生時に、災害対策委員会において被災地域を確定し、被災地域内の正会員に見舞金を支給する。

被災地域が限定的で少数の場合は、被災正会員からの報告に基づいて見舞金を支給する。

支援金：被災した正会員は、行政機関が発行する罹災証明の写しを添付して指定の用紙で本会に提出する。

動物診療施設の損傷が重度の場合、または被災正会員が多数で、災害基金の支給が不可能の場合は、災害義援金取り扱い要綱に従って義援金の募集を行う。

委員会で決定した事項を総務委員会と協議して規定を作成していただき、次回理事会に提案する予定。

その他：12月に対面会議で第4回の委員会を予定

今後本会員に、災害対策として、BCPの活用を周知し、災害時の連絡手段としてGoogleフォームなどを検討する。

<動物診療助手認定委員会>

令和6年度動物診療助手認定委員会 第2回委員会報告

開催日：令和6年9月16日

開催場所：本会会議室

出席者：委員長：林 健一

副委員長：太田 雄一郎

委員：渡邊 言之

迎 一彦

会長：長崎 淳一

副会長：松木 正信

議題

1. 特例措置による認定状況について（令和6年9月23日現在）
 - ・申請数：1,753名
 - 認定数：1,737名
 - *特例措置終了の令和8年3月31日までに必要とする者への認定を推進するため、広報強化に努めることを承認する。
2. スタッフ向けセミナーの内容に関するアンケートについて

- ・動物診療助手登録者のデータベース化に必要な情報が不十分であるため、本会ホームページから年内に情報登録するように動物診療助手に郵送で通知する。
 - ・登録された情報をデータベース化してアンケートを実施する。
 - *実施の変更を承認する。
3. 第4回認定試験問題選定について
 - ・本会役員に問題作成を依頼し、16名中15名の役員から作成した問題が提出された。
 - *役員作成の問題から50問を認定試験問題として選定する。

『会員の声』 原稿募集

総務委員会では、会員の皆様に誌面作りに参加していただくために『会員の声』のコーナーを設けております。身近な情報、意見などを奮ってご投稿下さい。原稿は4枚前後（1ページ22字×22行）で執筆して下さい。

なお、個人または特定の団体等を中傷する内容等の原稿、また匿名の原稿は受け付けません。

原稿送付先 〒105-0004

東京都港区新橋5-12-2 鴻盟社ビル5階
一般社団法人 日本小動物獣医師会

肺高血圧症を理解する ～病態評価と治療法の最前線～

第4回 肺高血圧症の診断および治療 ②

帯広畜産大学動物医療センター
循環器科 吉田 智彦

<はじめに>

近年、肺高血圧症（PH：Pulmonary hypertension）は診断される機会が増加し、また、ACVIM（American College of Veterinary Internal Medicine：アメリカ獣医内科学会）¹が掲載したガイドラインによって、診断基準などが統一され、その概念は広く認知されるようになった。しかし、PHは複数の病態が混在している場合も多く、病態評価や治療法に関して不明な点が多いのが現状である。そこで本シリーズでは4回を通して、PHの病態（臨床分類）、診断、治療に関して解説していく。最後の章となる第4回『肺高血圧症の診断および治療 ②』に関して解説する。

<PHの診断および治療>

前回の章で冒頭にPH診断のアルゴリズムを解説し、実際の症例を提示しながら原因鑑別および治療法を提示した。本章においても同様に実際の症例を提示しながら原因鑑別および治療法に関して解説していく。

<症例1：グループ4 PHと診断した犬（肺血栓塞栓症に続発したPH）>

プロフィール

犬種：ヨークシャテリア、性別：去勢雄、年齢：9歳

主訴：呼吸困難を主訴に来院した。症例は蛋白漏出性腸症の既往歴があり、プレドニゾロンを1.0 mg/kg SIDで処方されていた。

【身体検査所見】

体重：3.3kg、体温 38.3℃、心拍数 166bpm、

呼吸数 84回/分

右胸壁心尖部雑音が聴取された。SpO₂ 93%であった。

【胸レントゲン検査所見】

VHS= 11.0 vであった。左心房拡大所見なし。胸骨接地面積の増大が認められた。

【血圧測定】

収縮期血圧 156mmHg、拡張期血圧 94 mmHg、平均血圧 114 mmHgであった。

【血液検査所見】

Alb および総Caの低値が認められた（Alb 1.7 mg/dl、Ca 8.0 g/dl）。イオン化Ca濃度は正常値であった（1.21 mmol/l）。ALT、AST、ALPの軽度上昇が認められた（ALT 223 U/L、AST 152 U/L、ALP 512 U/L）。Dダイマーの上昇が認められた（Dダイマーは6.6 μg/ml（富士フィルムモノリス、参考基準値 ≤ 2.0 μg/ml、外注から2日後に判明した））。

【血液ガス分析】

FiO₂（室内酸素下）21%、PO₂（動脈血酸素分圧）60.5mmHg、PCO₂（動脈血二酸化炭素分圧）45 mmHg、A-aDO₂ 48.1（肺泡気動脈血酸素分圧較差：正常は10 mmHg程度）、P/F ratio 288（動脈血酸素分圧・吸入酸素濃度の比で肺の酸素化の能力を評価する指標の一つ。300未満だと著しく肺の酸素化の能力が低下していると考えられる）

【心エコー検査所見】

右傍胸骨左室流入路断面像にて、右心房・右心

室拡大、三尖弁逆流が認められた(図1A、B)。右傍胸骨左室短軸像で心室中隔の扁平化が認められた。肺動脈拡張(PA/Ao 1.1)、三尖弁逆流速度(TR流速度) 4.2 m/sec、LA/Ao1.45、E波形 0.51m/sec、A波 形 0.87 m/sec、LVIDd 13.2 mm、LVIDDN 1.06、AT/ET 0.27であった。右傍胸骨心基部断面像で肺動脈内に血栓と考えられる構造物が認められた(図1D)。また右心房内にも血栓様の構造物が存在していた(図1F)。左傍胸骨四腔断面において、RAA index(標準化右心房面積)が $13.5 \text{ cm}^2/\text{m}^2$ ($4.2\text{--}10.2 \text{ cm}^2/\text{m}^2$)、RVEDA index(標準化右心室面積)が $18.4 \text{ cm}^2/\text{m}^2$ ($2.8\text{--}11.6 \text{ cm}^2/\text{m}^2$)であった。

【診断】

グループ4 PH(肺血栓塞栓症に続発したPH)および蛋白漏出性腸症と診断した。肺血栓は、蛋白漏出性腸症に続発したものであると考えられた。

【治療および治療経過】

抗血栓療法および肺血管拡張薬(クロピドグレル 2.0 mg/kg SID、低分子ヘパリン 100 IU/kg SC、シルデナフィル 1.0 mg/kg BID)を開始し入院管理を行ったところ、病態は改善し2週間ほどで退院した。現在もシルデナフィル、抗血栓薬治療を行っており、蛋白漏出性腸症に対しては超低脂肪食でコントロールを行っている。

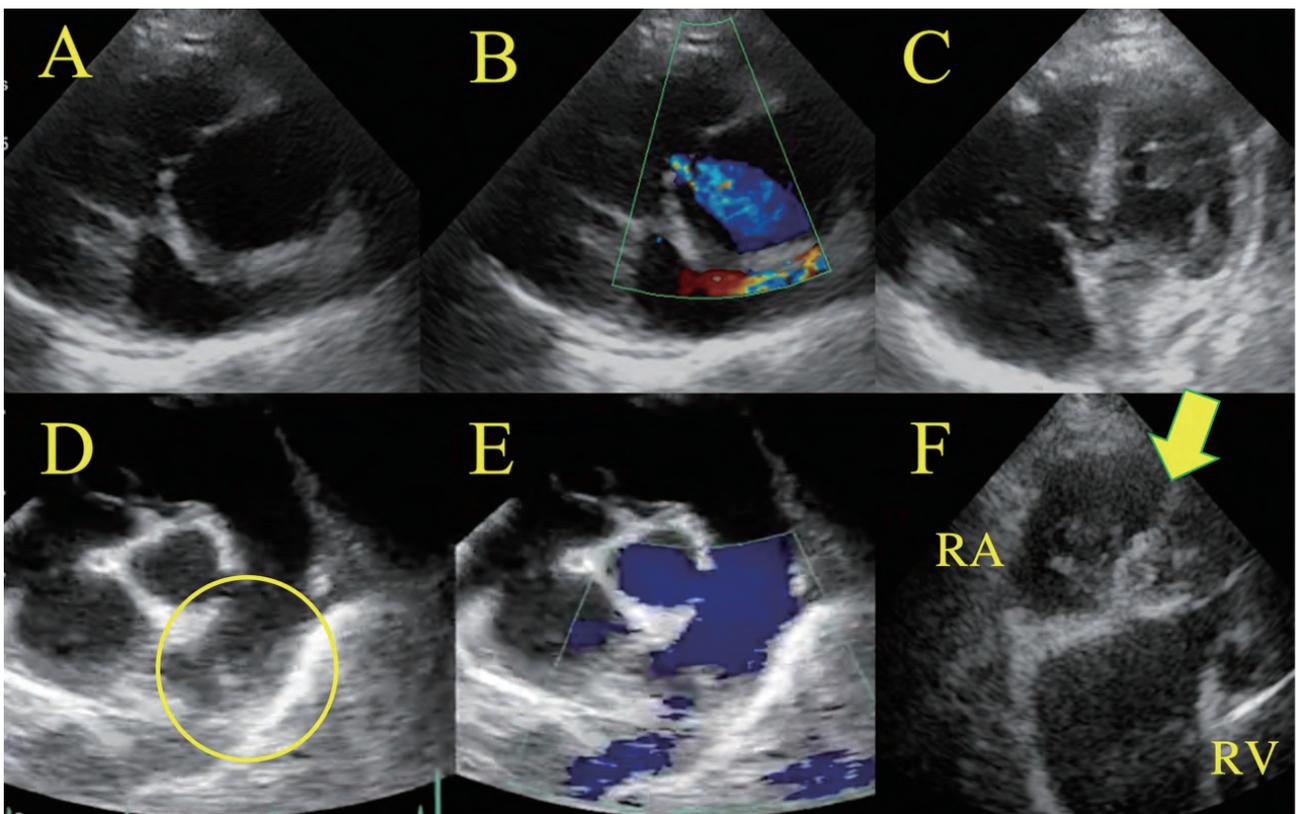


図1 症例1の心エコー所見

- A: 右傍胸骨左室流入路断面像において右心房および右心室の拡大認められた。
- B: 右傍胸骨左室流入路断面像(カラードプラ)において三尖弁逆流が認められた。
- C: 左傍胸骨四腔断面において右心房および右心室の拡大認められた。
- D、E: 右傍胸骨心基部断面像で肺動脈内に血栓と考えられる構造物が認められた。
- F: 右心房内にも血栓様の構造物が認められた。

＜肺血栓塞栓症（PTE：Pulmonary thromboembolism）の診断および治療に関して＞

- ・肺高血圧症グループ4（肺血栓塞栓症に続発したPH）の診断の条件

肺高血圧症グループ4の診断は難しく。画像上、肺動脈内に血栓が存在せず、Dダイマーのみが高値であった場合には確定診断とはならない。Zoiaらの報告¹では、腹水が存在する右心不全症例犬において凝固系および線溶系の異常が認められている。またSahee²らの報告では、PH症例は健常群と比較し異常凝固状態にあることが示唆されている。つまり重度の右心不全症例やPH症例であれば、Dダイマーの値は血栓が存在しなくても高値となる可能性がある。そのため、Dダイマーの高値のみでは肺血栓塞栓症の確定診断とはならず、CT検査や超音波検査によって肺動脈内に血栓を確認することが診断の条件となる。

- ・CT検査における血栓の確認

血栓の確定診断には造影CT検査が有用である。図2は参考文献から引用したCT画像である。血栓が主肺動脈や右肺動脈や左肺動脈の基部に存在していれば心エコー検査にて描出可能であるがそうでない場合は造影CT検査が必要となる。CTの性能が良く症例が大人しければ無麻酔造影CT検査でも血栓が描出可能である³。血栓の描出目的でCT検査を実施する際には症例の体格や呼吸

の状況によって画像がぶれ、診断できない事をインフォームすべきである。また造影剤によって病態が悪化する可能性があることも説明する必要がある（容量負荷による右心不全の悪化や稀であるが造影剤による腎機能の低下など）。全身麻酔が可能であれば、全身麻酔下で撮影を行なった方が診断率は上昇する。しかし、PH症例のほとんどが、呼吸状態が悪いため難しい場合が多い。また、CTの性能に関してだが文献上16列のヘリカルCTにおいても血栓の描出が可能である⁴。しかし、CTの性能として何列以上であれば血栓が描出可能であるかは血栓の大きさにも依存するためケースバイケースである。

- ・肺血栓塞栓症の治療

現在、獣医療では肺血栓塞栓症の治療に関するガイドラインは存在しない。肺血栓塞栓症を診断した時点で抗血栓療法を行うことは一般的であるが血栓溶解療法を実施すべきかどうかは不明である。人医療では、重篤な低酸素血症および循環不全を呈している場合に血栓溶解療法を実施している⁵。獣医療では統一された見解はないが、症例が呼吸不全を呈しており、酸素吸入を行なっているにも関わらず生命維持が困難な状況であれば、筆者はオーナーにインフォームし、血栓溶解療法を行っている。しかし、実施する際には以下の点を考慮している。

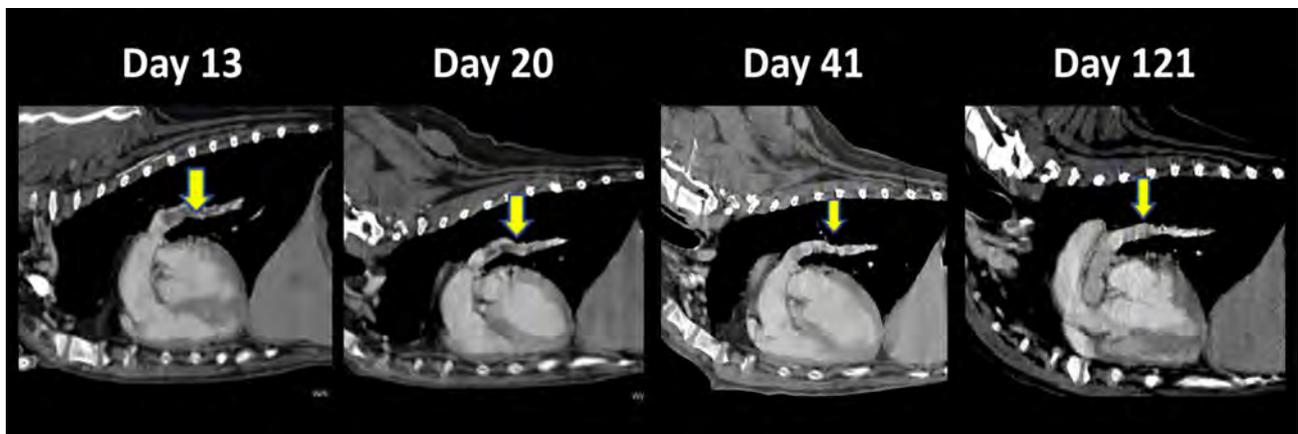


図2 肺血栓塞栓症の犬の造影CT画像および治療経過（参考文献3から引用）

矢印の部位は造影欠損が認められ血栓の存在を示唆している。抗血栓療法と血栓溶解療法実施後、徐々に血栓が消失している様子が認められる。

※血栓溶解療法を実施する際に考慮すべき事項

- ① 心臓内に血栓が存在する場合には溶解薬投与後に血栓が崩壊し、肺に流入する可能性があるため、心内血栓がないか確認しておく。
- ② 高齢動物だと脳内出血を起こす可能性がある。
- ③ 肝臓や腎臓、四肢など他の部位にも血栓がある場合には再灌流障害を起こす可能性があるため確認しておく。

●獣医療で使用される血栓溶解剤

○アルテプララーゼ

rt-PA製剤 (Recombinant tissue plasminogen activator) : 遺伝子組み換え組織プラスミノゲンアクチベーター

商品名: アクチバシン注 600万、グルトパ注 600万

薬価: アクチバシン注 600万単位 36,569円
グルトパ注 600万単位 37,435円

用量: 1 mg/kg (アルテプララーゼ 1mg は 58万IU に相当)

生理食塩水で希釈し、1 mg/kg 全量を1時間かけて投与する方法や全量の10%程度を1時間で投与した後、残りの90%を1時間かけて投与する方法などが報告されている(半減期は4~8分程度とされている)⁶。著者は1 mg/kgを1時間かけて投与している。また複数回投与した方が、溶解率が高いなどの報告はいないが、1日1回 数日程度使用することは可能である。人医療では上限60 mg/headとなっている。

作用機序: フィブリンとの親和性が高く、血栓に特異的に吸着し血栓上でプラスミノゲンをプラスミンに転化させ、フィブリンを分解し、血栓を溶解する。アルテプララーゼとモンテプララーゼの2種類のtPA製剤があるがアルテプララーゼは天然型t-PA(血管内皮細胞が産出するt-PA)と同じアミノ酸配列であるのに対し、モンテプララーゼは半減期を延長させる目的で

一部のアミノ酸を変化させている。両者のATEへの効果の違いは、獣医療では報告されていない。

薬剤情報: 人では血栓溶解薬の適応として脳梗塞なら4時間以内、心筋梗塞なら6時間以内に投与を行うことが推奨されている。動物でも同様に発症初期からの投与が推奨(6時間以内)されているが、詳細は不明である。

副作用: 再灌流傷害、急性腎不全、不整脈、ショック

利点: 保存療法とは異なり、存在する血栓を積極的に溶解する。

欠点: 薬価が高い。治療成績は決して良いとは言えず、使用するタイミングが非常に重要となる。血栓溶解後に再灌流障害を呈する可能性がある。

○モンテプラーゼ

rt-PA製剤 (Recombinant tissue plasminogen activator) : 遺伝子組み換え組織プラスミノゲンアクチベーター

商品名: クリアクター

薬価: クリアクター静注用 40万単位

39,407円

クリアクター静注用 80万単位

67,357円

用量: 13,500~27,500 IU/kg slow IV (数分かけてIV) 1日1回

生理食塩水で希釈し(5 mlの生食などにメスアップしている)、投与期間は3日間程度としている。人医療では高齢者が脳出血を起こす可能性も考慮し、低量(13,500 IU/kg)で開始している。

作用機序: アルテプララーゼと同様の作用機序だが、モンテプララーゼは天然型t-PAの84番目CysがSerに変更されており、アルテプララーゼよりも半減期が長い。

薬剤情報: 才田らの報告では、保存療法群とtPA投与群において、tPA投与群で

退院率が低かったとの報告もあり、アルテプラナーゼ同様に再灌流障害などが問題となっている⁷。人医療では、発症してから6時間以内に投与を行うことが推奨されている。

副作用：再灌流傷害、急性腎不全、不整脈、ショック

利点：保存療法とは異なり、存在する血栓を積極的に溶解する。半減期が長い薬剤であるため、時間をかけずにIVできる。

欠点：血栓溶解後に再灌流障害を呈する可能性がある。

物での報告例は限られている。人の尿から発見された事が名前の由来となっている。半減期は15分程度とされている。

副作用：出血傾向（脳出血、消化管出血、血尿）、再灌流傷害、嘔吐、急性腎不全、不整脈、ショック

利点：tPA製剤よりも安価な血栓溶解剤である。

欠点：tPA製剤よりも血栓に対する親和性が低いため、出血傾向となる可能性がある。tPAと同様に血栓溶解後に再灌流障害を呈する可能性がある。

○ウロキナーゼ

ウロキナーゼ型プラスミノゲンアクチベーター

商品名：ウロナーゼ静注用6万単位

薬価：ウロナーゼ静注用6万単位

1瓶4,704円

ウロナーゼ静注用12万単位

1瓶8,575円

用量：60,000 IU/head 点滴静注

明確な投与方法の記載は文献上にはない。様々な投与方法があるが筆者は、生理食塩水で溶解し、点滴剤(生食、ブドウ糖、生食とブドウ糖を1:1に調整した点滴剤)に混注し、1日かけて投与している。例えば50mlの生食にウロキナーゼ全量を溶かし、24時間で流れるように設定している：エビデンスなし)

作用機序：血液中のプラスミノゲンを活性化させ、フィブリンを分解する。tPAと異なり、血栓に対する特異性が低いため生理学的フィブリン凝塊も溶かすため出血傾向となる可能性がある。

薬剤情報：猫での使用報告例はいくつかあるが、使用用量が定まっていない。人医療では、カテーテルを使用した局所投与による血栓溶解がスタンダードな使用方法であるが、動

●獣医療で使用される抗血栓薬（JVECCガイドラインに基づく⁸⁻¹¹）

○低分子量ヘパリン（Low-molecular-weight heparin）

抗凝固薬

商品名：先発品 フラグミン静注5000単位/5mL

後発品 ダルテパリンNa静注5000単位/5mL

薬価：先発品 フラグミン静注5000単位/5mL 1バイアル674円

後発品 ダルテパリンNa静注5000単位/5mL 1バイアル475円

用量：100～175 IU/kg SC q8h

150～300 IU/kg/day持続点滴（1日量を24時間かけて流す。輸液剤に混注し流す：持続点滴投与による効果のエビデンスなし）

作用機序：AT（アンチトロンビン）の抗凝固活性を増強する。低分子量ヘパリンの分子量は4,000～6,000 Daと小さく、ヘパリンに比べ糖鎖が短いためATとは結合できるがトロンビンとは結合できず、ATを介して第Xa因子を阻害する。

薬剤情報：注射薬として静脈、皮下投与可能である。半減期が短いため1日複数回

投与する必要がある。著者は100～200 IU/kg SC TIDで投与することが多い。静脈内投与する場合は皮下投与よりも圧倒的に半減期が短くなるため急性期に急速に効果を得たい場合のみ静脈内投与している。CRIで投与する事もあるが、エビデンスがないため薬剤投与量が適切であるかは不明である。

- 副作用：出血傾向、肝酵素上昇、アナフィラキシーショック（稀）
- 利点：強い抗凝固作用。注射薬であるため経口投与ができない症例にも有効である。
- 欠点：半減期が短く1日複数回投与しなければならない。

○クロピドグレル (Clopidogrel)

- 抗血小板薬
- 商品名：先発品 プラビックス25 / 75mg錠 (剤径 6.8 mm/ 8.7 mm)
後発品 クロピドグレル25/ 75mg錠 (剤径 6.7 mm/ 8.7 mm)
- 薬価：先発品 プラビックス25 mg錠 40円、75mg錠 96円
後発品 クロピドグレル25 mg錠 17円、75mg錠 22円
- 用量：犬 2～3 mg/kg SID (リバーロキサバンとの併用時には1 mg/kg)
- 作用機序：ADP受容体 (P2Y12) を遮断し、血小板活性を抑制する。
- 薬剤情報：3日後から最大効果発揮を發揮する。効果発現までに時間を要するため、初期は低分子ヘパリンと併用することが多い。休薬後は7日以降から血小板機能が回復するため、外科手術や抜歯を行うことがあれば7日以上休薬を推奨する。
- 副作用：出血傾向、胃腸障害、肝酵素上昇、白血球数減少
- 利点：リバーロキサバンよりも安価である。また副作用も比較的少ない。リバー

ロキサバンよりも研究報告が多い。

欠点：錠剤径が大きい。分割した場合には苦味があり、飲ませにくい (カプセルに重鎮すると良い)。粉末にし、食餌に混ぜても苦味で食べない事が多い。

○リバーロキサバン (Rivaroxaban)

- 抗凝固薬 (DOAC: direct oral anticoagulant 直接経口抗凝固薬)
- 商品名：イグザレト2.5/10 /15mg錠
- 薬価：イグザレト 2.5 mg 114円/錠 (直径：6 mm) 白
イグザレト 10 mg 351円/錠 (直径：6 mm) ピンク
イグザレト 15 mg 489円/錠 (直径：6 mm) 紫
- ※直径がどの規格も変わらない、色は変わるので区別がつく。
- 用量：1.0～2.0 mg/kg SID (0.5 mg/kg SID からスタートし 2.0 mg/kg SID まで増量している)。
- 作用機序：直接的に第Xa因子を阻害し抗凝固作用を發揮する。
- 薬剤情報：消化吸収率が高い、効果発現が早く効果も1日程度で消失する。
- 副作用：出血傾向、肝障害、間質性肺疾患など。
- 利点：錠剤径が小さく飲ませやすい。
- 欠点：先発品の薬価が高く、動物におけるエビデンスが少ない。

○アスピリン (Asprin)

- 抗血小板薬
- 商品名：アスピリン [日医工] 粉末 500 g、バファリン 81 mg錠
- 薬価：アスピリン [日医工] 粉末 1000 mg 3円
バファリン 81 mg錠 5円
- 用量：0.5～15 mg/kg SID (用量の幅が広く使いにくいが筆者は1.0～2.0 mg/kg SID で使用しており、低用量か

ら開始しているがJVECCガイドラインではアスピリン自体を推奨していない。低用量 (1~5mg/kg/日) と高用量 (>13mg/kg/日) のアスピリン療法を直接比較した研究があるが結果はさまざまであった。

作用機序：COX-1を非可逆的に阻害し、TXA2の産生を抑制することにより抗血小板作用を発揮する。

副作用：胃腸障害*、出血傾向、肝酵素上昇 (*重篤な胃潰瘍を発症する場合があります)

利点：安価であり、投与量も少ないため飲ませやすい。

欠点：クロピドグレルやリバーロキサバンが登場するまでは使用されていたが、胃潰瘍などの副作用を呈することもあり最近では使用する機会が減少した。

<症例2：グループ5 肺高血圧症（寄生虫疾患を起因としたPH）と診断した犬>

【プロフィール】

犬種：ミニチュアシュナウザー

性別：未去勢雄、年齢：中齢

主訴：呼吸困難および失神を主訴に来院した。保護犬で一年前にフィラリア症の治療を行っていた。

【身体検査所見】

体重：6.4 kg、体温 38.8℃、心拍数 121 bpm、呼吸数 64 回/分、股動脈の脈拍は正常に触知された。CRT<2 sec、右胸壁心基底部分収縮期性雑音が聴取された。

【血液検査所見】

フィラリア抗原検査も陰性であった（1年前は陽性）。CRPの上昇 5.0 mg/dlが認められた。Dダイマー1.8 μ g/ml（富士フィルムモノリス、参考基準値 \leq 2.0 μ g/ml）。

【胸部レントゲン検査所見】

右心拡大（胸骨接地面積の拡大）、VHS= 10.5 v、肺葉間裂の明瞭化から胸水貯留が疑われた（図3）。

【胸水検査】

呼吸不全を呈していたため胸水抜去をおこなった。抜去後もレントゲン検査を実施しているが腫瘤性病変などは認められなかった。胸水の性状は変性漏出液であった（TP 2.8 g/dl）

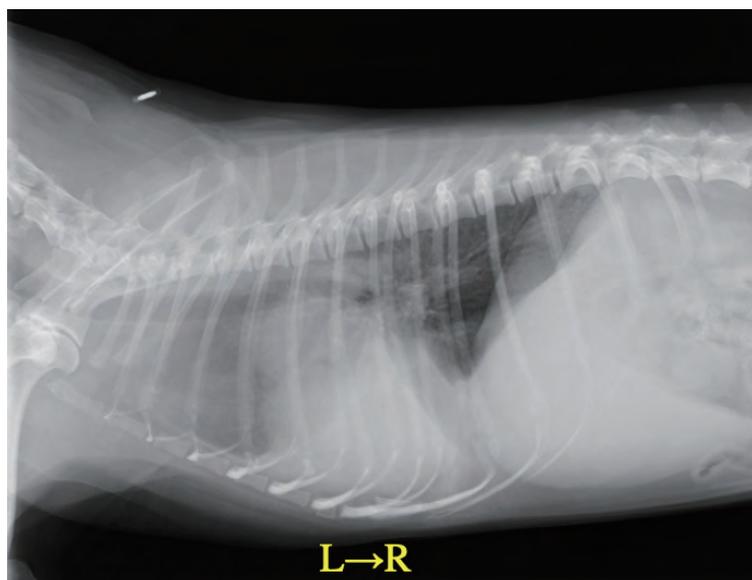


図3 症例2の初診時のレントゲン画像 右ラテラル像

【心エコー検査所見 (図 3)】

右傍胸骨左室流入路像にて右心拡大および右肺動脈の拡張が認められた (図 4A)。右傍胸骨左室短軸像心尖部レベルにて拡張期に心室中隔の扁平化が認められた (図 4B) また、FS 62 %、LVIDd= 14.5 mm、LVIDDN= 1.35であった。右傍胸骨左室短軸像心基底レベルにて肺動脈拡張 (PA/Ao 1.21)、肺動脈逆流速度の上昇 (PR流速 3.57 m/s) が認められ、LA/Ao 1.38、AT/ET= 0.21、肺動脈波形にノッチが認められた (図 4C)。左傍胸骨四腔断面像にて三尖弁逆流速度の上昇 (TR流速 4.66 m/sec) が認められた (図 4D)、E波形 0.67 m/sec、A波形 0.9m/secであった。僧帽弁逆流は認められなかった。

【診断および治療経過】

グループ5 PH (寄生虫疾患に続発したPH) またはグループ1 PH と診断した。1年前にフィラリア症の治療を実施していることからグループ5 PH の可能性が高いと判断した。治療としてシル

デナフィル 1.0 mg/kg BID を開始した。処方後は呼吸状態および失神が改善し、一般状態も良好である。

＜フィラリア症治療から1年が経過しているがPHを起こす可能性があるのか?＞

フィラリア駆虫が成功したにも関わらず、肺動脈のリモデリングがゆっくりと進行し治療から数ヶ月後にPHを発症した症例も報告されているため¹²、問診による過去の既往歴の聴取は大変重要である。

＜フィラリア症の治療＞

American heartworm society からフィラリア症治療におけるガイドラインが発表されている (<https://www.heartwormsociety.org/>)。表1はガイドラインで発表されている治療プロトコルを翻訳したものである (一部改変)。現在、日本国内でメラルソミンを入手することは困難であるため、著者は以下のプロトコルでフィラリア症の治療を行なっている。

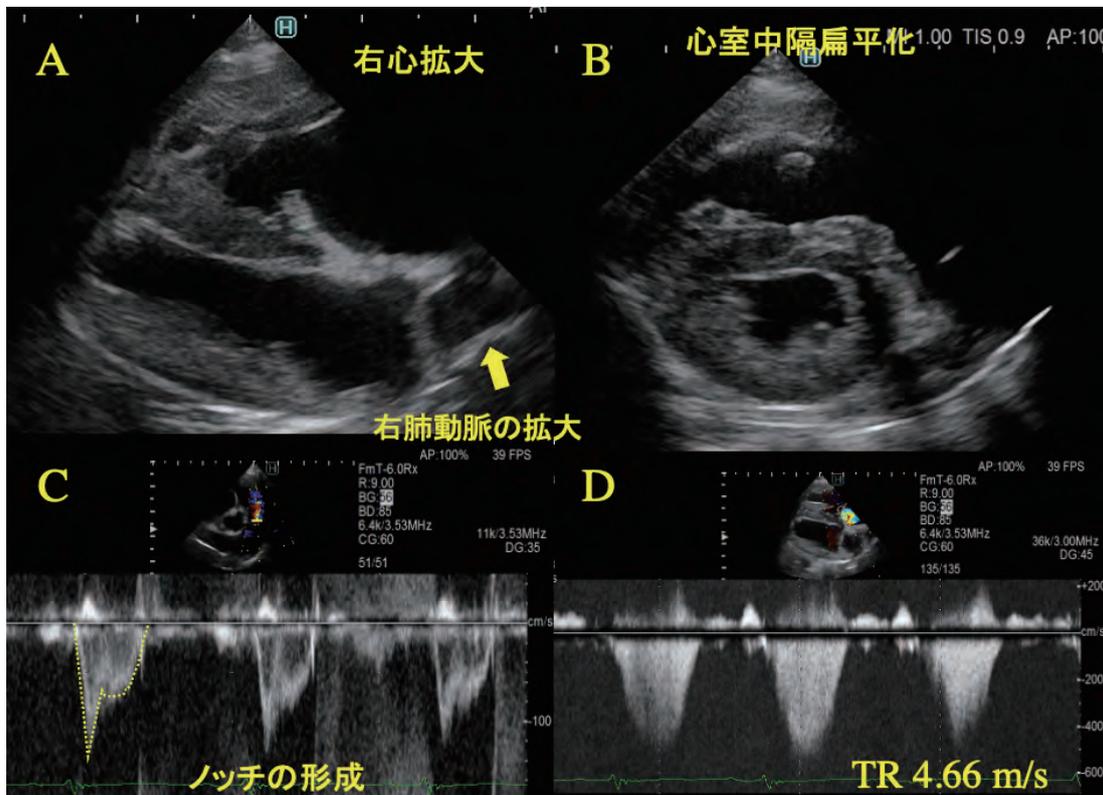


図4 症例2の心エコー検査所見

表1

治療過程	治療内容
Day 0	<p>犬糸状虫症の診断が確定した犬に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抗原検査の陽性結果をマイクロフィラリア検査で確認する。 ・陰性の場合、製造元の異なるキットを用いて2回目の抗原検査を実施する。 ・蚊の忌避・殺虫作用のある米国環境保護庁承認の犬用外用剤を投与する。 ・運動制限を開始。 ・プレドニゾンを1週間0.5mg/kg 1日2回、2週目0.5mg/kg 1日1回、3及び4週目0.5mg/kg 2日に1回で処方する。
Day 1	<p>適切な犬糸状虫予防薬を投与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陽性の場合、アナフィラキシーを起こす危険性を低減するために抗ヒスタミン剤及び糖質コルチコイド（またプレドニゾンを投与していない場合）を前投与する。 ・最低8時間以上、副作用の観察を行う。
Day 1～28	<ul style="list-style-type: none"> ・ドキシサイクリンを10mg/kg 1日2回で4週間投与する。
Day 30	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な犬糸状虫予防薬を投与する。 ・蚊の忌避・殺虫作用のある米国環境保護庁承認の犬用外用剤を投与する。
Day 31～60	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な犬糸状虫予防薬を投与する。 <p>現在、ドキシサイクリン投与後、メラルソミンを投与するまで1ヶ月の待機期間を設けることが推奨されている。これにより、成熟蚊虫の前に殺虫化学療法によって発生する炎症反応を抑えられと考えられている。さらに、内部生体材料が排除されると犬糸状虫が正常に発育できずに終わる。</p>
Day 61	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な犬糸状虫予防薬を投与する。 ・第1回目のメラルソミン2.5mg/kgを筋肉内投与する。 ・プレドニゾンを1週間0.5mg/kg 1日2回、2週目0.5mg/kg 1日1回、3及び4週目0.5mg/kg 2日に1回で処方する。 ・運動制限を継続する：ケージレスト、庭に出る場合はリードを付ける。
Day 90	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な犬糸状虫予防薬を投与する。 ・2回目のメラルソミン2.5mg/kgを筋肉内投与する。 ・プレドニゾンを1週間0.5mg/kg 1日2回、2週目0.5mg/kg 1日1回、3及び4週目0.5mg/kg 2日に1回で処方する。
Day 91	<ul style="list-style-type: none"> ・3回目のメラルソミン2.5mg/kgを筋肉内投与する。 ・プレドニゾンを投与後、6～8週目は運動制限を続ける。
Day 120	<ul style="list-style-type: none"> ・検査を行う。 <p>陽性の場合、マイクロフィラリア駆除剤を投与し、4週間後に再検査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬糸状虫予防薬を通年継続して投与する。
Day 365	<ul style="list-style-type: none"> ・最後に投与したメラルソミンから9ヶ月後に抗原検査とマイクロフィラリア検査を実施する。 ・抗原陽性の場合、ドキシサイクリンを再投与し、その後、メラルソミンを24時間隔で2回投与する。

著者が実施しているフィラリア症の治療

○大静脈症候群（ベナケバ症候群）を起こしている場合

- ・アリゲーター鉗子またはアリゲーター鉗子がないければ硬性鉗子やディスポーザブルの内視鏡用鰐口鉗子などを用いて虫体を除去している。虫体が肺動脈のみにいる場合はフレキシブルアリゲーター鉗子でないと先端を曲げることができず肺動脈内に侵入できないため摘出は困難である。

○虫体が肺動脈内のみにいる場合

- ・イベルメクチンの16ヶ月間投与+ドキシサイクリン 10 mg/kg 30日間投与
※イベルメクチン初回投与の際はプレドニゾン 1.0 mg/kg SID を処方
（ミクロフィラリアが死滅することによるアレルギーの抑制および血管炎予防）。イベルメクチン投与2時間前にプレドニゾロンを投与する。翌日以降プレドニゾロンを漸減して（0.5 mg/kg SID）1週間ほど投与する
- ・2回目以降、ミクロフィラリアが存在する場合は予防薬を投与する前にプレドニゾン 1.0 mg/kg SID を投与する。
- ・フィラリア感染によって患者は血栓傾向となるためステロイドを処方している期間はクロピドグレル 2.0 mg/kg SID も同時に処方している。
- ・突然死が起こる可能性をインフォームしている。
- ・半年毎のフィラリア検査
- ・1年後の検査で感染が続いていれば引き続き投与

<PH症例の治療まとめ>

『PHを診断したら、すぐにシルデナフィルを投与する』ではなく、診断と共に原因疾患を追及することでPHをより効果的に治療することができる。そのため、診断した症例がどのグループに分類されるのかを常に意識することが重要である。

<おわりに>

本シリーズでは4回を通して、PHの病態（臨

床分類）、診断、治療に関して解説した。小動物医療ではPHに関して不明な点が多く、特にグループ分類や病態評価の方法に関しては今後も検討する余地がある。治療介入の遅れ、獣医師側の知識不足がPH悪化の要因となるため、診断から治療までの流れをスムーズに行い、多くの知識を共有することで、一頭でも多くの命を救おうとすることが大切である。

参考文献

- 1 Zoia A, Augusto M, Drigo M, Caldin M. Evaluation of hemostatic and fibrinolytic markers in dogs with ascites attributable to right-sided congestive heart failure. *J Am Vet Med Assoc.* 2012;241(10):1336-1343. doi:10.2460/javma.241.10.1336
- 2 Min S, Wesselowski SR, Nabity MB, Yankin I. Pulmonary hypertension is associated with hypocoagulability in dogs: a retrospective analysis of 66 cases (2013-2021). *Am J Vet Res.* 2024; 85(4): ajvr.23.11.0252. Published 2024 Feb 12. doi:10.2460/ajvr.23.11.0252
- 3 Horikawa R, Suzuki R, Yuchi Y, et al. Pulmonary thrombotic pulmonary hypertension managed using antithrombotic and pulmonary vasodilator treatment. *J Vet Intern Med.* Published online April 25, 2024. doi:10.1111/jvim.17089
- 4 Morita T, Nakamura K, Osuga T, Hanazono K, Morishita K, Takiguchi M. Change in right ventricular function in an American cocker spaniel with acute pulmonary thromboembolism. *J Vet Med Sci.* 2019;81(9):1259-1265. doi:10.1292/jvms.19-0082
- 5 Konstantinides SV, Torbicki A, Agnelli G, et al. Task Force for the Diagnosis and Management of Acute Pulmonary Embolism of the European Society of Cardiology (ESC). 2014 ESC guidelines

- on the diagnosis and management of acute pulmonary embolism. *Eur Heart J* 2014; 35: 3033-3069, 3069a-3069k. PMID : 25173341
- 6 Guillaumin J, Gibson RM, Goy-Thollot I, Bonagura JD. Thrombolysis with tissue plasminogen activator (TPA) in feline acute aortic thromboembolism : a retrospective study of 16 cases. *J Feline Med Surg.* 2019;21(4) :340-346. doi : 10.1177 /1098612X18778157
- 7 才田 祐人, 高島 一昭, 山根 剛, 山根 義久. 動脈血栓塞栓症猫に対する抗凝固薬の単独療法と血栓溶解薬の併用療法との比較検討. *動物の循環器.* 2013 年 46 巻 2 号 p. 29-35
- 8 Sharp CR, Goggs R, Blais MC, et al. Clinical application of the American College of Veterinary Emergency and Critical Care (ACVECC) Consensus on the Rational Use of Antithrombotics in Veterinary Critical Care (CURATIVE) guidelines to small animal cases. *J Vet Emerg Crit Care (San Antonio).* 2019; 29 (2) :121-131. doi :10.1111/vec.12804
- 9 deLaforcade A, Bacek L, Blais MC, et al. 2022 Update of the Consensus on the Rational Use of Antithrombotics and Thrombolytics in Veterinary Critical Care (CURATIVE) Domain 1- Defining populations at risk. *J Vet Emerg Crit Care (San Antonio).* 2022;32(3) :289-314. doi :10.1111/vec.13204
- 10 Goggs R, Bacek L, Bianco D, Koenigshof A, Li RHL. Consensus on the Rational Use of Antithrombotics in Veterinary Critical Care (CURATIVE) : Domain 2-Defining rational therapeutic usage. *J Vet Emerg Crit Care (San Antonio).* 2019;29(1) :49-59. doi :10.1111/vec.12791
- 11 Blais MC, Bianco D, Goggs R, et al. Consensus on the Rational Use of Anti thrombotics in Veterinary Critical Care (CURATIVE) : Domain 3-Defining antithrombotic protocols. *J Vet Emerg Crit Care (San Antonio).* 2019;29(1) :60-74. doi :10.1111/vec.12795
- 12 Falcón-Cordón Y, Montoya-Alonso JA, Caro-Vadillo A, Matos-Rivero JI, Carretón E. Persistence of pulmonary endarteritis in canine heartworm infection 10 months after the eradication of adult parasites of *Dirofilaria immitis*. *Vet Parasitol.* 2019;273:1-4. doi :10.1016/j.vetpar.2019.07.008

動物が受け入れやすい獣医療を目指すためにできること

ペテモどうぶつ医療センター相模原
松山ほうじょう動物クリニック
南麻布動物病院
麻布大学共同研究員 石井 綾乃

■はじめに

医療とは、狭義には診察（診断と治療）すなわち、医の行為であり、広義には健康に関するお世話である。立場によって「望ましい医療」の定義が異なり、患者にとっては重要な問題が改善されることであり、医療従事者にとっては安心し誇りを持って行える行為である（全日本病院協会「病院のあり方に関する報告書」より一部抜粋）。

医療を受ける動物の思考を想像してみると、獣医療（診察・健康に関するお世話）＝問題改善とは理解しておらず、獣医療行為自体が不快・苦痛の原因となりうる。動物が獣医療を不快に思う場

合の問題点は多数存在するが、動物が逃げる・暴れる・攻撃的である場合は、動物は必要な獣医療行為を受けられず、動物病院スタッフは怪我を負う可能性が高まり、飼い主は通院や自宅でのケアを避けるようになるかもしれない（表1）。特にストレスは免疫抑制や創傷治癒の遅延などの影響を及ぼす可能性があり、治療の妨げとなる可能性がある [1]。

実は行動診療科では、かかりつけ医の通院・治療を無理やり実施してきた結果、家や動物病院での問題行動が悪化した症例を経験することがある。例えば、手術から帰宅後に自宅で家の壁を壊

表1 動物が獣医療を不快に思う問題点

動物	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 恐怖・不安・高ストレスによる障害 ✓ パニック・逃避行動によるリスク↑ ✓ 強制的な保定による怪我 ✓ 適切な検査・処置を受けられない ✓ 鎮静・麻酔処置によるリスク↑
スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 怪我をするリスク↑ ✓ 人手が必要 ✓ 適切な治療を行えない
飼い主	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 通院や家での投薬が大変・困難 ＝通院を避ける可能性あり ✓ 動物との信頼関係が壊れ、 攻撃行動を受けるリスク↑

すほど破壊行動が悪化した症例（図1）、通院後に常同障害を発症した症例、処置から帰宅後に首輪・リードをつけられなくなり1年弱家の外に出せなくなった症例など様々な形でストレス症状が生じる。

飼い主・医療従事者だけでなく、動物にとっても「望ましい獣医療」とはなんだろうか？可能な限り「動物が受け入れやすい獣医療」を目指すためには、動物病院スタッフ・飼い主・動物の協力が不可欠である。本稿では、海外で活発に提案されている①獣医療に対する動物の恐怖不安の軽減方法、②通院前投薬 Pre-Visit Pharmaceuticals (PVP)、③動物の協力を得るケア方法：Cooperative（協力的）ケアトレーニングを紹介する。

①獣医療に対する動物の恐怖不安の軽減方法

■ Fear FreeTMの認定プログラム^[2]

アメリカから世界中に広まった認定プログラム（2024年10月現在、日本語プログラムはない）で、獣医師向け・愛玩動物看護師向けなどコースに沿って、オンラインで情報を得ることができ、認定資格を得ることができる。アメリカでは動物に優しい診療を望んでいる飼い主が、自らWebサイトでFear FreeTM認定資格を有しているスタッフ・動物病院を検索して受診することが可能となっている。

Fear FreeではFear（恐怖）、Anxiety（不安）、Stress（ストレス）の頭文字をとったFASを軽減することを目的としている。本稿ではFear Freeのプログラム内容と、行動学的視点から実施可能な方法をいくつか挙げる。

■ボディランゲージの観察・評価

動物のボディランゲージ（姿勢、動作、表情など）を観察することで、動物がその刺激を快と思うのか、不快と思うのかを推察することができる。特に「攻撃へのほしご（図2）」を参考にすると、現時点で動物が咬む行動を見せていなくても、どの程度ストレスを感じているのかを予測できる。よく臨床現場では獣医師が近づきただけで鼻をぺろりと舐め、耳を後ろに引き、獣医師から距離を取る様子を見かけるのではないかと、動物が無

抵抗で診察を終えた場合に「いい子だった」という動物に対する評価を耳にするが、本当に動物がリラックスして無抵抗だったのか、恐怖不安で硬直しており無抵抗だったのかで、動物のストレス状態は大きく異なる。後者の恐怖不安による硬直だった場合、その行為を長時間行う・繰り返すことで、唸る・咬む行動に転じる直前と考えられる。

■診察時に動物病院でできる取り組み

【環境を整える】

- ・動物が不快を感じる、興奮するような刺激（視覚・聴覚・嗅覚など）を減らす
 - ✓待合室で犬猫の場所を分ける
 - ✓車や外で待機可能な対応をする
 - ✓視線が交わらないように目隠しを設置する・貸し出す
 - 犬：パーテーションの利用（図3）
 - 猫：バスタオルをキャリアにかける
 - ✓落ち着きやすい嗅覚刺激を使用する
 - 犬：アダプティルTM
 - 猫：フェリウェイTM

【対応】

- ・怖がらせない、興奮させにくい接し方
 - ✓急に動かず、ゆっくり動く
 - ✓覆いかぶさらない
 - ✓目を見続けたい
 - ✓大声で話しかけない、急になでない

【診察】

- ・先に口頭での問診から始める
 - ✓部屋に慣れてから診察台に乗せる
 - ✓キャリアからひっぱり出さない
 - 犬：自ら出てくるのを待つ
 - 猫：バスタオルをやさしくかけてから出す
- ・触診
 - ✓声をかけてから触れる
 - ✓直腸検温が苦手な個体が多いため、先に聴診などを行う
 - ✓比較的受け入れやすい箇所（背中など）から触る

図1 症例が手術後に自宅でパニックになり破壊した壁



図2 犬の「攻撃へのはしご」

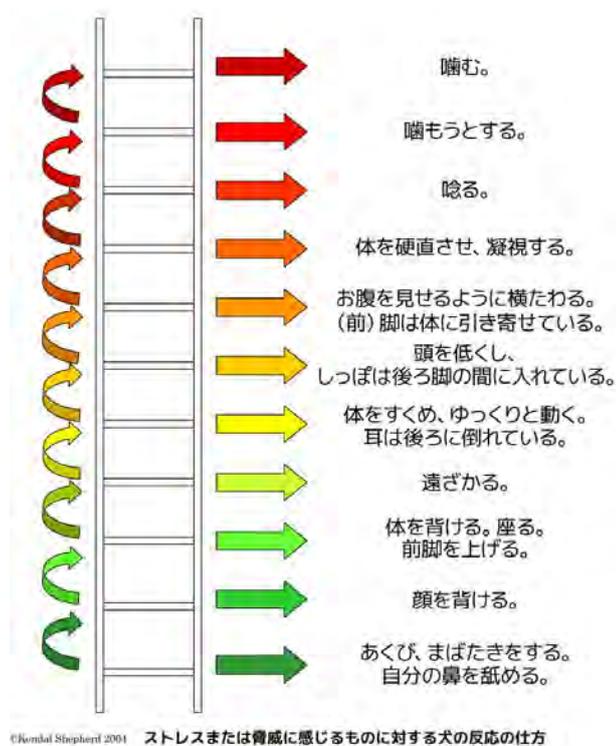


図3 待合室の折りたたみパーテーション



- 四肢、口、肛門周りなど接触が苦手な箇所は特に注意する

・保定

- ✓力任せではなく、体全体で支える
- ✓動物が力を抜いたら力加減を緩める
- ✓繊細な動物の対応は可能な限り手慣れたスタッフで対応する = 暴れれば逃げられる学習を防ぐ

【動物病院に対する順化・拮抗条件づけ】

- ・動物病院内で動物に快刺激（食べ物など）を与える
 - ✓持参のフード、おやつを与える
 - ✓動物病院で用意する（当院では低アレルギーのおやつを使用）

■自宅・通院時の取り組み

- ・キャリアの順化トレーニングを自宅で行う（図4）
 - ✓キャリアを通院時以外にも自宅に出しておく
 - ✓好物の食べ物・おもちゃを利用して、動物自らキャリア内に入る機会を設ける
 - ✓キャリアに自ら入ったら好物の食べ物を与える
 - ✓企業が用意しているリーフレットを飼い主に配布する

子猫ちゃんの通院トレーニング（株式会社エム・エル・ティー）[3]（図5）

・診察がない時に病院慣れを行う

- ✓犬の散歩時に動物病院の前で好物の食べ物を与える
- ✓待合室で好物の食べ物を食べさせる

②通院前投薬 Pre-Visit Pharmaceuticals (PVP)

PVPとは、動物病院来院前に自宅で抗不安作用のある薬剤を投与し、動物病院への移動と来院時のFAS（恐怖・不安・ストレス）を軽減させる方法である。動物病院に到着した後では興奮状態で、投薬しても抗不安効果が効きにくいデメリットを軽減し、FASを軽減することで動物は動物病院での処置に肯定的な対応を学ぶことができるというメリットがある。

欧米では攻撃行動が生じていなくても、来院や処置に対して恐怖不安のボディランゲージを示す場合には、PVPが活用されている[4]。一方、日本では小型犬が多いので、多少暴れても数人で保定をすれば処置が可能な場合は、鎮静薬のリスクと比べて無投薬で処置を行うことが多いのではないだろうか。また、処置時に鎮静薬の投与が必要な症例の場合も、鎮静薬を投与するまでの間にスタッフが怪我をするリスクもあるのではないか。

図4 自宅でのキャリア慣れ練習



好物の食べ物をキャリアに入れ、自分から入り、中で追加の好物を食べ、自分からキャリアで休むまでなれると通院時に苦勞せずいれることができる

図5 子猫ちゃんの通院トレーニングのHP資料

子猫ちゃんの通院トレーニング

準備編 子猫ちゃんの通院トレーニング

トレーニングは、猫ちゃんにとって、辛いこと嫌なことの強制になりませんか？

まずは「猫ちゃんとのゲームトレーニング」を読んで実践していただき、猫ちゃんが飼い主さまとトレーニングすることを楽しめるようになってから、「通院トレーニング」を始めてください。
 トレーニングは猫ちゃんと飼い主さまとの楽しい共同作業です。より一層飼い主さまとの「きずな」を深めていくことにつながるとともに、猫ちゃんの好奇心をくすぐる楽しい遊びになります。

準備するもの

猫ちゃんのお気に入りのカリカリごはん (ごほうび)
 猫ちゃん健康に配慮して、1日のご飯の量から10～20%

そのような場合には、PVP薬だけでは処置時に不動化は難しくとも、PVP薬を投与した上で通院を促すことで鎮静薬の投薬がより安全に実施でき、鎮静薬の使用量を下げることがもできる。特に入院治療など長時間、病院でのストレス環境下で治療・処置を行う時に、抗不安薬を使用することで、鎮静薬の使用頻度を落とすことができるかもしれない(図6)。

もし、飼い主が薬剤使用への抵抗感が強い場合、もしくは併発疾患の関係で抗不安薬を使用しにくい症例では、サプリメントやフェロモン製剤の使用も検討できる。

【その他の療法】

■サプリメント

✓ α カソゼピン (ジルケーンTM)

- ・効果：不安軽減
- ・特徴：併発疾患がある場合も使用しやすい
- ・投与量：25 mg/kg 以上、
- ・投与タイミング：必要時の1, 2日前と外出の60分前に投与
- ・注意点：報告されているリスクはない

■フェロモン製剤

✓ 犬：アダプティルTM、猫：フェリウェイTM

- ・効果：不安軽減

図6 ガバペンチン服用後3時間で接触可能になった入院猫



- ・スプレー製剤
 - ：効果の持続時間は4.5時間、キャリー内の敷物やハーネスに塗布して通院する。
 - 動物病院の待合室・診察室・処置室・入院室などで使用する。
- ・噴霧器製剤
 - ：効果の持続時間は24時間、動物病院の待合室・診察室・処置室・入院室などで使用する。

【PVPの薬剤】

抗不安薬は効果に個体差が大きいいため、筆者は最低容量を1規格(1/4錠になることもある)とし、調整を行うようにしている(図7)。通院以外のタイミングでトライアル投与が推奨されており、薬剤への反応・有害事象の有無の確認を行う。図8にPVPのトライアル・用量調整の方法と、動

物病院での処置や飼い主家族に攻撃行動を呈していた猫の用量調整の例を示した。処置の内容により、通院・身体検査程度ではFASが軽減された場合でも、侵襲度が高い処置になるとFASが大きくなることもあるので、都度ボディランゲージを評価しながら用量調整が必要となる。

■抗不安作用を有する薬剤

✓ガバペンチン

- ・効果：抗不安作用、神経障害性疼痛の鎮痛
- ・投与量：犬 10～50 mg/kg, PO
猫 10～40 mg/kg, PO
※猫のPVP薬の第1選択
- ・投与タイミング：来院前日の夜、外出の2時間前に投与
- ・注意点：用量依存的に鎮静、運動失調が発生する可能性がある。流涎、嘔吐が生じること

図7 抗不安薬の用量調整の例

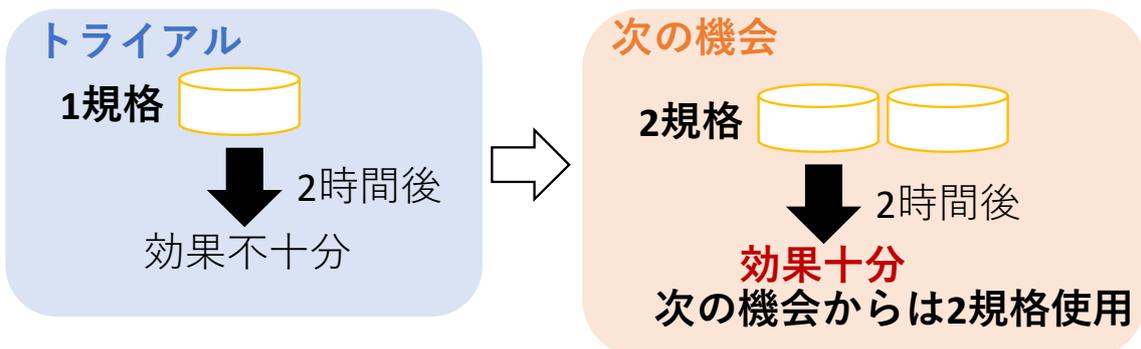
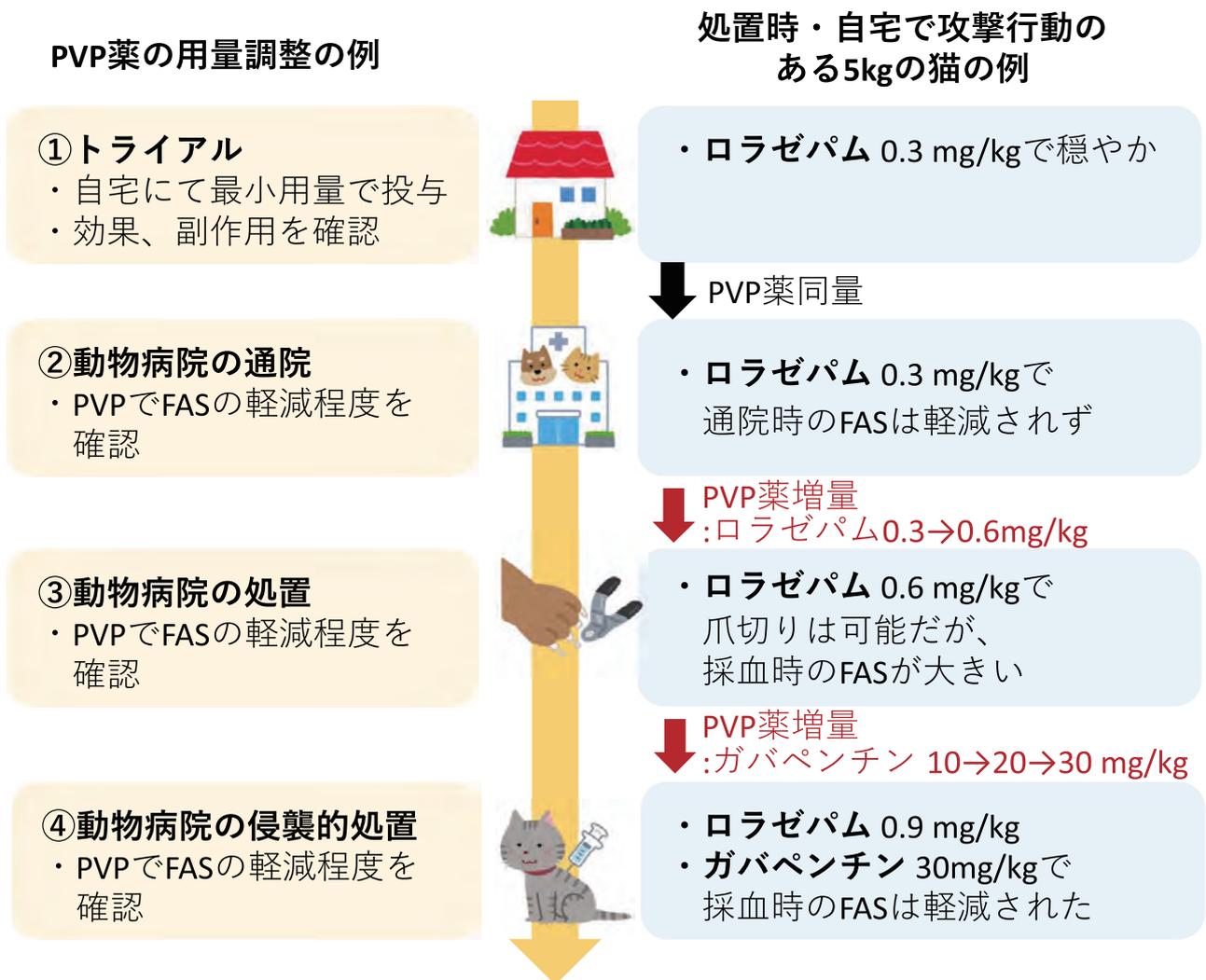


図8 PVPのトライアル・用量調整



がある。動物が衰弱状態である場合以外は比較的
 安全な薬剤である。

眼瞼突出、セロトニン症候群、てんかん・緑
 内障・心疾患・肝疾患の動物には慎重投与。

✓トラゾドン

- ・効 果：抗不安作用、睡眠導入薬
- ・特 徴：犬のPVP薬の第1選択薬
- ・投与量：犬 2.5 ~ 10.0 mg/kg, PO
 ※犬のPVP薬の第1選択
 猫 50 ~ 100 mg/CAT, PO
- ・投与タイミング：来院前日の夜、外出の2時
 間前に投与
- ・注意点：眠気、逆説的な興奮、軽度の消化器
 症状（食欲低下、嘔吐、下痢等）、猫の第三

✓プレガバリン

- ・効 果：抗不安作用、神経障害性疼痛の鎮痛
- ・投 与：犬 2 ~ 5 mg/kg, PO
 ※外出の2,3時間前に投与
 猫 1 ~ 5 mg/kg, PO
 ※外出の90分前に投与
- ・注意点：用量依存的に鎮静、運動失調が発生
 する可能性がある。流涎、嘔吐が生じることが
 ある。動物が衰弱状態である場合以外は比
 較的安全な薬剤である。

以下のベンゾジアゼピン系薬剤は、強力な抗不安薬ではあるが副作用もあり、薬剤耐性が生じやすいため、第一選択薬ではない。その他の療法・ガバペンチン・トラゾドンを併用しても FAS 軽減が難しい場合に使用を検討する。

✓ベンゾジアゼピン薬（アルプラゾラム、ジアゼパム、ロラゼパム等）

- ・効果：抗不安作用、睡眠導入薬
- ・投与量：表 2
- ・投与タイミング：外出の 1 時間前に投与
- ・注意点：鎮静、眠気、運動失調、過食、逆説的な興奮等。ジアゼパムは猫で肝障害の可能性がある。

鎮静効果を高めたい場合に抗不安薬との併用に限り、アセプロマジンの使用などが挙げられる。

■鎮静作用を有する薬剤

✓アセプロマジン

- ・効果：鎮静薬
- ・投与量：犬、猫 0.5 ~ 2.0 mg/kg, PO
- ・投与タイミング：外出の 1 時間前に投与
- ・注意点：攻撃性の増加、騒音への反応増加、鎮静、回復の延長、不動化による FAS の増加にも注意。抗不安薬との併用では特に低血圧に注意。

③動物の協力を得るケア方法：Cooperative（協力的）ケアトレーニング

協力的ケアトレーニングとは、医療処置・ケア時に動物の協力的な参加を目指すトレーニング方法で [5][6]、ケアに対する同意行動を動物に教え、動物が自分に起きることを選択することで安心感が増加し、ケア行為に協力的になるという方法で

ある [7]。国内では「ハズバンドリートレーニング」という言葉が類似の方法を指し、水族館動物・動物園動物にトレーニングを行い、採血などの獣医療行為に動物が協力的に参加する動画などをご覧になったことがある方もいらっしゃるかもしれない。

伴侶動物は猛獣に比較すれば小さく、力で押さえつけることが容易であるため、動物病院でスタッフが保定をすれば処置が実施可能な場面が多い。しかし、自宅での点眼・点耳等を指示したが、飼い主が自宅で実施できなかったというご経験はないだろうか？ 飼い主は動物に良かれと思い、必死になって自宅でケア行為を実施しようとするが、動物が逃げて実施できないだけでなく、ケア行為をきっかけに飼い主に対するうなる・咬む攻撃行動が増加している事例も見かける。

筆者は主に行動診療科として行動学的疾患の診察を行っているが、身体的疾患の治療を行う獣医師から相談を受け、協力的ケアトレーニングの指導を行っている。以下に点眼に対する協力的ケアトレーニングの方法を 2 つ紹介する。筆者は飼い主が実施しやすい方法を選択してもらうようにしている。

■ 2 つの方法に共通の点眼の順化トレーニング

※動物が同意行動を示さない・中止した時は、順化練習を中断・中止する。

- ・同意行動を示している時に、顔のそばに手を近づける（*）
- ・「よし」と声をかける
- ・動物の好物の食べ物を与える
- ・（*）を徐々に、顔を触る→目を指で開く→目薬を近づける→顔に目薬を垂らす→目の中に目

表 2 PVP で使用されるベンゾジアゼピン

	アルプラゾラム	ジアゼパム	ロラゼパム
投与量	・犬：0.02~0.1 mg/kg、PO ・猫：0.0125~0.025 mg/kg、PO	・犬：0.5~2.0 mg/kg、PO ・猫：使用はできるが特発性肝壊死症のリスクあり	・犬：0.02~0.1 mg/kg、PO ※最大0.5 mg/kg ・猫：0.25~0.5 mg/kg、PO

薬を垂らすまで、実際の点眼の行為に近づけていく。

■簡易的な方法（図9）

※デメリット：食べ物の食べ過ぎや、顔の静止は難しい。

- ・一定時間食べ続けられる凸凹形状のお皿を動物が立位になった時の顔の前に設置する。
- ・柔らかい食べ物を塗ったお皿を舐めていることを同意行動と定める。
- ・同意行動を示している間にのみ点眼の順化練習を行う。

■本格的な方法

※デメリット：あごを台に乗せる行動や乗せる時間を延ばすトレーニングに時間を要する。

- ・動物があごを乗せられる高さの台を用意し、あごを乗せる行為を同意行動と定める（図10）。
- ・同意行動を示している間にのみ点眼の順化トレーニングを行う（図11）。
- ・トレーニングが完成すると顔が動かないので点眼がしやすく、点耳・歯磨きなどに応用が可能となる。

図9 簡易的方法のトレーニングの様子



図10 本格的な方法のあごを台に乗せる行動の様子



図11 本格的な方法であごを台に乗せ、点眼する様子



本稿では、飼い主・医療従事者だけでなく、動物にとっても「望ましい獣医療」として、可能な限り「動物が受け入れやすい獣医療」を目指す方法を一部紹介した。今回記載した以外にも、様々な工夫方法が存在するので、みなさまの動物病院で取り入れやすい方法・飼い主・動物が受け入れやすい方法をご選択いただきたいと思います。また、③動物の協力を得るケア方法：Cooperative（協力的）ケアトレーニングに関しては、一般診療の合間で指導するには時間的・技術的にやや難しい場合には、お近くの行動診療医、もしくは実施可能なトレーナーに相談するとよいかもしれない。また、相談・ご質問等がある場合にも筆者に気軽にご連絡いただきたい。

参考文献

- [1] Lefman SH, Prittie JE. Psychogenic stress in hospitalized veterinary patients: Causation, implications, and therapies. *J Vet Emerg Crit Care (San Antonio)* . 2019 Mar;29 (2) :107-120.
- [2] Fear Free HP : <https://fearfreepets.com/> (accessed 2024-10-31)
- [3] 株式会社エム・エル・ティー HP: <https://neko-tsuin.com/html/bag/index.html> (accessed 2024-10-31)
- [4] Erickson A, Harbin K, MacPherson J, Rundle K, Overall KL. A review of pre-appointment medications to reduce fear and anxiety in dogs and cats at veterinary visits. *Can Vet J*. 2021 Sep;62 (9) :952-960.
- [5] Deborah A. J : Cooperative Care: Seven Steps to Stress-Free Husbandry, Step Three : Geberal Body Handling, Deborah Jones, Deborah Jones, Ohio (2018)
- [6] ドルフィンボーイアカデミー HP : <https://www.dolphin-boy-academy.com/> (accessed 2024-10-31)
- [7] Lukas Wess, Astrid Böhm, Miriam Schützinger, Stefanie Riemer, Jason R. Yee, Nadja Affenzeller, Christine Arhant, Effect of cooperative care training on physiological parameters and compliance in dogs undergoing a veterinary examination – A pilot study, *Applied Animal Behaviour Science*, Volume 250, 2022, 105615.

日本初、マルボフロキサシン+ クロトリマゾール+デキサメタゾン酢酸エステル合剤



COMING
SOON



日本初!

犬用外耳炎治療薬として
初のマルボフロキサシン



ソフトタイプノズル



1日1回



オティキュア®の特長

1 日本初※の有効成分を含む合剤



- ①マルボフロキサシン(フルオロキノロン系薬)
- ②クロトリマゾール
- ③デキサメタゾン酢酸エステル

※犬用外耳炎治療薬として

2 患部に届きやすい設計

- 適度な粘度、均質化された微粒子の懸濁液で、有効成分が耳道内にまんべんなく広がります。
- 耳垢にもよくなじみ、速やかに耳道内に拡散します。

3 ソフトタイプノズル

耳に優しく、投与しやすい
ソフトタイプの透明ノズルです。



*本剤は第一次選択薬が無効な症例に限り使用すること。

動物用医薬品 要指示 指定

複合抗生物質製剤

オティキュア®

犬用外耳炎治療薬

販売元  日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

製造販売業者 **ベトキノールジャパン株式会社**
東京都港区芝大門1丁目1-23

製造元  **ベトキノール**(フランス)

胃 苓 湯

日本獣医中医薬学院 西依 三樹

■はじめに

今回は胃苓湯と言う漢方薬をご紹介いたします。胃苓湯は平胃散と五苓散と言う2種類の漢方薬を合わせたものです。医療用漢方エキス剤にはこの様に2剤を組み合わせたものがいくつかあります。2剤を合わせることで治療範囲を広げ、個々の病態や体質により近く対応させて相乗効果を上げるためです。平胃散は名の如く胃に向けた薬として処方されるもので、五苓散は水分代謝に働く利尿剤と呼ばれるものです。この2剤を併せるとどう言う効果があるのかご紹介させていただきます。また平胃散及び五苓散については各々改めてご紹介させていただく予定です。

■基本添付文章（能書）

水瀉性の下痢、嘔吐があり、口渴、尿量減少を伴う次の諸症：食あたり、暑気あたり
冷え腹、急性胃腸炎、腹痛

■配合生薬

(生薬名)	(効能)
蒼朮	* 化湿作用
厚朴	化湿作用 止嘔作用
	* 理気作用
陳皮	化湿作用 止嘔作用
	理気作用
生姜	化湿作用 止嘔作用
	理気作用
大棗	胃腸を強める
甘草	胃腸を強める 痛みを和らげる 他薬の調和作用
茯苓	* 利尿作用
白朮	利尿作用
猪苓	利尿作用
沢瀉	利尿作用
桂皮	膀胱の陽気を強めること

で他薬の利尿作用を高め
ます

* 語句説明

中医学では水分代謝の滞りを湿、停水、水腫、痰飲などと言います。日本漢方では水毒などと言われるものですが、浮腫、腹水や胸水、関節液の貯留などはこれらの病態と診ます。その治療薬に化湿薬、利尿薬、化痰薬などがあります。

上記にある化湿とは大まかには胃や腸の浮腫みを取る作用です。利尿は化湿よりも強い作用で消化管内や組織間液、間質液の余剰な水分を血漿中に引き込み排尿させて体外に除くものです。化湿と利尿を兼ね備えている生薬はいくつもあります。化湿薬と利尿薬の分類については文献によっても明確な線引きはないようですので大まかに捉えて頂くのが宜しいかと思えます。

利尿薬には西洋薬の利尿剂的なものもあります。しかし胃苓湯に配合されている化湿薬や利尿薬は利尿剂的なものとは違って腎機能にほぼ影響なく生体にとって余剰な水分のみ排泄するのが特徴です。その為、生体に脱水を引き起こす様なことは殆ど無く安全性が高いものです。

また厚朴や陳皮など化湿に加えて気の滞りを取る理気作用を兼ねているものが配合されています。これは湿、水腫、痰などの水分代謝異常には必ず気の滞りがあるからです。体の水や血を動かす原動力は生体エネルギーである気が担います。そのため気を動かす薬が必要となります。この気を動かす薬を理気薬と言います。

■解説

厚朴、陳皮は主に上部消化管に作用すると言われていて生姜と合わせて胃の湿滞（浮腫）を取り除き止嘔作用を強めます。大棗、甘草は胃腸を強めます。また甘草は消化管の痛みを和らげ、配合

薬同士を調和させる働きをします。蒼朮は胃腸の浮腫を取ります。また茯苓、白朮、猪苓、沢瀉と合わせることで利水作用を強め消化管内の過剰な水分を尿として排泄させることにより嘔吐を抑え、便を固めて下痢を治します。

■獣医臨床処方目標

胃苓湯の適用は能書にある様に食あたりなどで。犬や猫が腐敗物などを食した後に胃液や腸液を多く出して腐敗物を体から排出、排泄させようとして水性の急性嘔吐や水性下痢と言った生体防御反応が起こります。この防御反応が過剰になり制御できなくなってしまった様なケースで服用するものです。

また癲癇や水頭症などで脳循環改善に五苓散がよく処方されますが、この様な疾患で比較的体力があり日頃から嘔吐しやすい個体、或いは痙攣発作に先立って嘔吐や激しい流涎を呈する様な個体には五苓散と平胃散が合方されている胃苓湯の選薬は宜しいかと思えます。

■副作用

甘草：偽アルドステロン血症

桂皮：痒み

■証：中間

■メーカー：ツムラ・KTS

■剤型：顆粒

■味：わずかな辛味

■おわりに

獣医臨床ではよく高齢期やIBDなどの慢性胃腸疾患などによって水性の嘔吐や水性の下痢を繰り返す個体を診ることが少なくないと思えます。この様な虚弱な個体は気の不足により胃から小腸、大腸へと消化物を送る力が弱いために嘔吐する、消化力が不十分で未消化物によって下痢している状態です。この気の不足が著しい場合には消化を担う脾胃の気を補う人参などが配合されている人参湯や六君子湯などをお勧めします。理気薬である厚朴やと陳皮は気を動かすものであって補うものではありません。脾胃の気を補う生薬配合が少ない胃苓湯はあまりお勧めしません。漢方薬を選薬する際は動物の体力や病態の評価が大事で

す。

その目安として「証」をご参考下さい。体力や病勢の強い個体は実、体力虚弱で病勢緩慢なものは虚、実でも虚でもないものは中間と表しています。但し明確な線引きはありませんので動物の体質や病態全体を大きく捉えて選薬していきます。

スタッフを募集される先生の 連絡をお待ちいたします

本会では、ホームページ、JSAVA ニュースにスタッフ募集記事を無料掲載致します。

是非、ご利用いただきたくお願い致します。また、新たにスタッフ採用予定の先生は、下記の事項を本会事務局までお知らせ下さい。

記

*病院名：

*住所：

*院長名：

*担当者名：

*TEL：

*FAX：

*メールアドレス：

*募集人数：愛玩動物看護師 _____名

スタッフ _____名

*印は必ずご記入ください。

掲載申し込みはFAXまたはメールで日小獣事務局宛 お送り下さい。

FAX：03-5843-7549

メール：jsavainfo@jsava.org

ホームページでの掲載期間は原則3カ月とします。

※※2013年3月改訂(第5版)
 ※2007年5月改訂(第4版)

貯 法：しゃ光・気密容器
 使用期限：容器、外箱に表示

■ 115 ■

漢方製剤

ツムラ胃苓湯エキス顆粒(医療用)

日本標準商品分類番号	
	875200
承認番号	(61AM) 1148
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年10月

【組成・性状】

組 成	本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.25gを含有する。	
	日局コウボク……………2.5g	日局ブクリョウ……………2.5g
	日局ソウジュツ……………2.5g	日局ケイヒ……………2.0g
	日局タクシャ……………2.5g	日局ショウキョウ……………1.5g
	日局チョレイ……………2.5g	日局タイソウ……………1.5g
	日局テンピ……………2.5g	日局カンゾウ……………1.0g
	日局ビャクジュツ……………2.5g	
	添加物	日局ステアリン酸マグネシウム、日局乳糖水和物
性 状	剤 形	顆粒剤
	色	淡褐色
	におい	特異なにおい
	味	わずかに辛い
	識別コード	ツムラ/115

【効能又は効果】

水瀉性の下痢、嘔吐があり、口渇、尿量減少を伴う次の諸症：
 食あたり、暑気あたり、冷え腹、急性胃腸炎、腹痛

【用法及び用量】

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- (2)本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。
- (3)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

2. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬 剤 名 等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(1)カンゾウ含有製剤 (2)グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパチーがあらわれやすくなる。 (「重大な副作用」の項参照)	グリチルリチン酸は尿細管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

(1)重大な副作用

- 1)偽アルドステロン症：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- 2)ミオパチー：低カリウム血症の結果としてミオパチーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

(2)その他の副作用

	頻度不明
過 敏 症 ^(注1)	発疹、発赤、痒痒等

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

6. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]

※【包装】

500g、2.5g×42包、2.5g×189包

※【文献請求先】

株式会社ツムラ お客様相談窓口
 東京都港区赤坂2-17-11 〒107-8521
 TEL：0120-329970 FAX：03-5574-6610

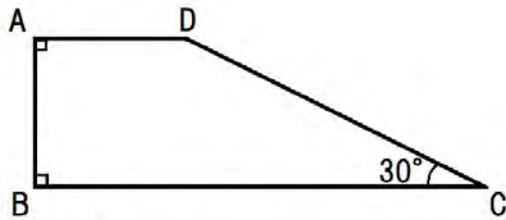
※  株式会社ツムラ
 東京都港区赤坂2-17-11



頭の体操

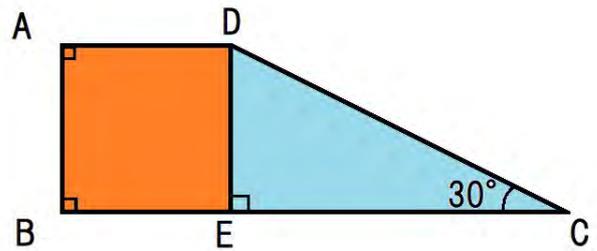
広報委員会 鈴木 淑剛

今回は図形の良問3題です。どれも答えを出すためにはちょっと条件が少ないように思いますが、まずは解いてみてください。

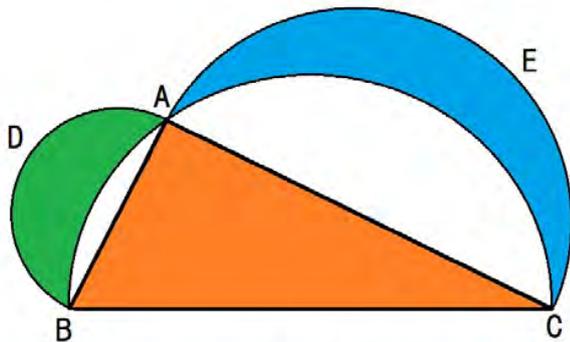


AB=AD, BC=10cmの時、
台形ABCDの面積を求めよ

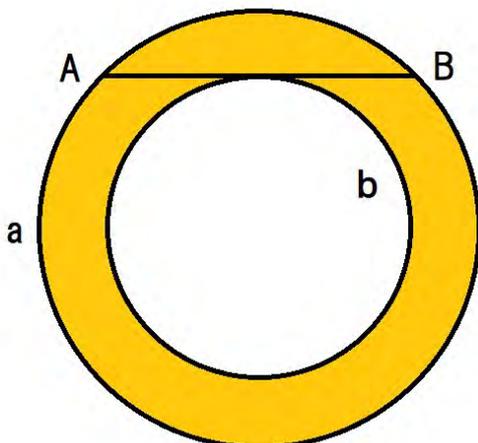
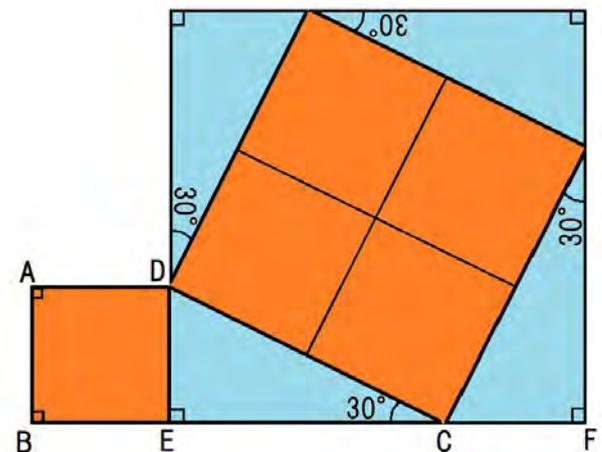
まずは台形の問題です。
DからBCに補助線として垂線を引きます。



BC = 10cmなので、BEをa cmとした時、ECは(10-a) cmとなります。△DECは直角三角形で、DE:EC = 1:√3なので・・・と、正方形ABEDと三角形DECそれぞれ面積を出して合計するという、ごりごりなやり方でも答えは出ますが、以下のように作図をすると、より分かりやすくなります。

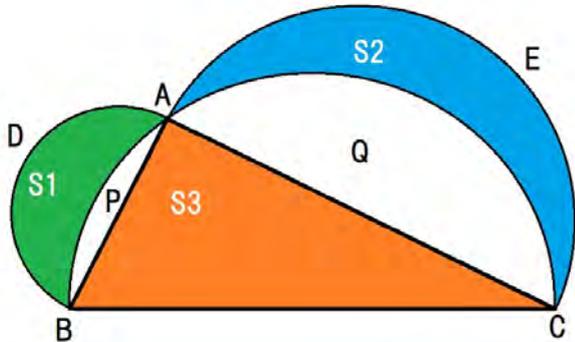


弧ADBは直径ABの円弧、弧AECは直径ACの円弧である。また、△ABCは直角三角形である。三日月型の緑の部分の面積と水色の部分の面積の合計と△ABCの面積を比で表せ。



求めたい面積は、オレンジの正方形と水色の三角形の合計ですが、オレンジの右側にある、大きな正方形を見ると、オレンジの正方形4個と水色の三角形4個の面積となっています。BE = DE = CFなので、EFの長さは10cmとなります。したがって、計算式は
 $10 \times 10 \div 4 = 25$ 答え 25cm^2 となります。

次は三日月の問題です。
 まずは各場所に記号を付けてみます。



ABを直径とする半円の面積は $S1 + P$ 、ACを直径とする半円の面積は $S2 + Q$ です。円の面積は半径×半径× π ですから、ABを直径とする半円の面積は、 $1/2AB \times 1/2AB \times \pi \times 1/2$ 、つまり $\pi AB^2/8$ となり、したがって、 $S1 = \pi AB^2/8 - P$ となります。

ACを直径とする半円の面積は、 $1/2AC \times 1/2AC \times \pi \times 1/2$ 、つまり $\pi AC^2/8$ となり、したがって、 $S2 = \pi AC^2/8 - Q$ となります。

以上より、 $S1 + S2 = \pi AB^2/8 + \pi AC^2/8 - P - Q$ となります。式をまとめると、 $\pi (AB^2 + AC^2) / 8 - P - Q$ となります。

次に $S3$ の面積を考えます。

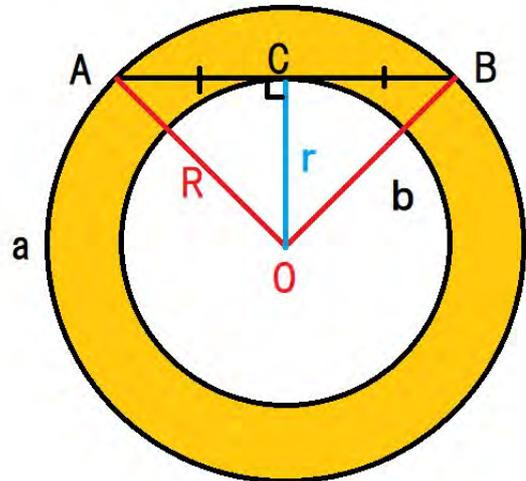
$\angle BAC$ は直角なので、BCは弧BACを含む円の直径となりますから、BCを直径とする半円の面積は $S3 + P + Q$ となります。

BCを直径とする半円の面積は $1/2BC \times 1/2BC \times \pi \times 1/2$ つまり $\pi BC^2/8$ となり、したがって、 $S3 = \pi BC^2/8 - P - Q$ となります。

ここで、 $\triangle ABC$ は直角三角形なので、三平方の定理より $AB^2 + AC^2 = BC^2$ となっていますから、 $S3 = \pi (AB^2 + AC^2) / 8 - P - Q$ となります。したがって、 $S1 + S2 = S3$ となり、面積比は 1:1 となります。

最後の問題です。

円の面積を求めるのに直径がでていません。しかし、この条件だけでも回答が可能です。



円aの半径をR、円bの半径をrとすると、求めたい面積は、 $\pi R^2 - \pi r^2$ で、まとめると、 $\pi (R^2 - r^2)$ となります。

円の中心OとA、Bにそれぞれ直線を引き、さらにOからABに垂線を引き交点をCとすると、OAは大きな円の半径 (R)、OCは小さな円の半径 (r) となります。

$\triangle AOC$ と $\triangle BOC$ は合同となりますから、点CはABの中点となります。

また、三平方の定理から $OA^2 = AC^2 + OC^2$ となるので、

$$R^2 = AC^2 + r^2$$

$$R^2 - r^2 = AC^2 = (8 \times 1/2)^2 = 16 \text{ となります。}$$

求めたい面積は $\pi (R^2 - r^2)$ でしたので、

$$R^2 - r^2 \text{ に } 16 \text{ を代入した、}$$

$$16 \pi$$

が答えとなります。

台形の問題は、中学校の入学試験、残り2問は高校の入学試験問題です。たぶん、当時はぱっと閃いたと思うのですが、頭が固くなったのかなかなか考えさせられる問題です。

いつまでも、頭の柔軟性とひらめき、発想力は大事にしたいものです。

トラブルアンケートについてのご報告

獣医事対策委員会

日頃より日本小動物獣医師会にご協力頂き、ありがとうございます。

この度、会員の皆様に複数回にわたりご回答頂きました、アンケート結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

皆様に頂きました結果を当会顧問弁護士に確認していただき、それぞれについて解説していただきました。

この内容が、会員の皆様の日常の診察に少しでもお役に立てれば幸いです。

お忙しい中、ご協力頂きまして誠にありがとうございました。



アンケート結果について

スタッフの対応についてのトラブル

1. 態度について

- ・〈質問〉 ペタペタ音を立てる歩き方が悪いなどの注意した事に真摯に答えない。反省をしているようには見えなかった。

→ 〈解答〉 法的には、懲戒処分の対象にはならないと思われ

ます
(せいぜい、人事評価の一要素として考慮するに留まります)

スタッフとの人間関係が悪いために、反省をしているように見えないのかもしれないかもしれませんが、「ペタペタ音を立てる歩き方を避けるべき理由」の説明は必要かもしれません。

2. 言葉使いについて

- ・〈質問〉 丁寧な話し方をするが言葉の使い方が悪く直す努力をしない。
- ・〈質問〉 規則、ルールを盾に身も蓋もないつけんとんな物言いを飼主さんに浴びせる。
- ・〈質問〉 丁寧な話し方をするが、言葉の使い方が悪く治す努力をしない。

→ 〈解答〉 法的には、暴言と評価できるような特段の事由がない限り、懲戒処分の対象にはならないと思われ

ます
→ 〈解答〉 「なぜ、丁寧な話をするが言葉の使い方が悪いのか」について、原因によ

って対応が変わる可能性があります。例えば、①言葉遣いに関する知識がないことが原因であれば、教えてあげる必要があります。

次に、②本人の性格に問題があるのであれば、言葉の使い方に配慮することで、自身の顧客からの印象が良くなる等のメリットを伝えてあげることが必要でしょう。

さらに、③本人が職場や待遇に不満を持っていることが原因であれば、職場の不満の内容について情報収集して、職場のメンバーの工夫で解決がつく問題か、それとも、解決不可能(退職するしかない)問題なのかについて、分析をすることが必要でしょう。

3. その他

・〈質問〉 なかなか意識が伸びないにもかかわらず専門雑誌を読む等の努力もしない。

→ 〈解答〉 当該スタッフは、知識向上に対する意欲が少ないのかもしれない。

なぜ、知識向上への意欲が少ないのか、背景事情を探ることが必要です。(多くの場合、待遇への不満が背景にあることが多いですが・・・)

知識を増やすことで、自身にどのようなメリットがあるか(あるいは、飼主や仲間にはどのようなメリットがあるか)、説いてあげることが必要かもしれない。

「専門雑誌を読むべきだ!!」と、「あるべき論」をいくら言っても、当該従業員には響かない(あるいは反発を受ける)可能性が高いと思われます。

・〈質問〉 診察の順番を間違えること。

→ 〈解答〉 診察の順番を間違えることのデメリットやリスクを説明することが必要と思料します。

(獣医師やスタッフとしての職責から、理解させることになろうかと存じます)

診療内容についてのトラブル

1. 外来診察内容について

・〈質問〉 他の病院では何もしてくれなかった!とのたまう飼い主に検査の提案と金額の説明をした瞬間血相を変えて診察室から出ていき、待合室で「ここはダメね!信用ならない!」と大声で叫び始めた。

→ 〈解答〉 逆に、治療を開始してしまった後の方が、トラブルが大きくなるかと思われれます。

信頼関係が構築できない場合には、お帰り頂くこともやむを得ないと思料

します。

(むしろ、飼主にとって信頼関係が構築できる獣医師を選択していただく方が、双方にとって良いと思料します)

また、待合室で大声で叫ぶ行為についても、第三者から見れば、そのようなことを感情的に騒ぎ立てる人に対してシンパシーを感じることは少ないと思いますので、そのままお帰り頂く方が、リスクが低いと思料します。(なお、叫ぶ行為が収まらなかったり、窓口で暴れるなど、業務に支障が生じるような場合には、躊躇なく警察を呼ぶことをお勧めします)

・〈質問〉 待ち時間が長くなってしまうと、まだか、という事を言われる。今は予約診療に切り替えました。

→ 〈解答〉 妥当と思料します。

2. 検査内容について

・〈質問〉 「お金のことはいいんです!」という飼い主が、お金のことがよかった試しがない

→ 〈解答〉 人の医療の場合と異なり、獣医療の場合には、費用対効果の問題が大きいため、治療費に関する説明は丁寧にすることをお勧めします。

「お金のことはいいんです」という場合でも、「費用は重要な話ですので」と述べたうえで、説明をすることをお勧めします。

3. 手術について

・〈質問〉 肝数値上昇している患者で肝生検をしたところ覚醒せず死亡した。泣きながら料金未払いで帰り、その後「料金を請求するな」「訴えてやる」との趣旨の書留まで送られたが、電話にて「病理検査の結果で死因はわかっている。未払いの料金を支払ってくれたらきちんと説明する。お金の問

題じゃないというのなら説明させて欲しい」と連絡したが、支払いもなく説明も聞きに来なかった。

→ 〈解答〉 もともと、飼主は治療費を支払う意思のない可能性が高いと思われます。そのため、法的手段を講じてでも請求するか、回収を断念するか、「費用対効果」を踏まえて判断することが必要です

・〈質問〉 手術予定金額より多くなった時に、聞いていないと言われる。手術前の説明でも予定費用なので増減しますと説明はしているのですが。

→ 〈解答〉 見積もりを高めに設定しておくこともご検討ください。
(追加料金の請求は、心理的ハードルが高いです)

金銭トラブル

1. 物販について

・〈質問〉 インターネットで買ったフード代を病院で返せと言われた

・〈質問〉 「消費税がかかるのがおかしい、人ではかからない」と言われた

・〈質問〉 他院よりも高いので他院の領収書を持ってきてその金額以上支払いをしない。

インターネットショッピングサイトより高い数多く買っても安くならない。・・・等

→ 〈解答〉 動物病院は専門的なサービスを提供しますので、価格面で納得されない方に対しては、他の動物病院を選択していただくことが妥当と思料します。

飼主には、動物病院を選ぶ自由がある反面、動物病院が値引きに応じる義務もありません。

フードの価格についても、購入する場所によって値段が違うことは常識です。値引きに応じる必要はない

でしょう（そのうえで、飼主の選択に委ねるべきです）。

・〈質問〉 フードなどを注文してその後音沙汰なし。

・〈質問〉 フードや内服を送り、商品到着後振り込みをしていただくのに支払いされない。

→ 〈解答〉 BtoC のビジネスにおいて、先に商品を交付することはリスクが高いです。

2. 治療費について

・〈質問〉 概算の見込診療費との相違に対して軽いクレームがあったり、他多数。

・〈質問〉 手持ちの現金がなく、クレジットカードも持っておらず、診療費の一部が支払われなかった。その後来院することはなく、金額も少額だったため諦めた。

・〈質問〉 他所ではそんな高くなかったと言われた。飼い主が勝手に金額を決めていて、それよりも高いから、あるいはちょっとゴネたら安くなると思って値下げを要求される。

・〈質問〉 料金を請求しても払ってもらえない。・・・等

→ 〈解答〉 事前に費用の説明をしたうえで、治療を行うか飼主に選択してもらうことになるでしょう。

飼主との間の信頼関係が構築できていない段階（例えば初診）の場合や、高額の治療費が見込まれる場合等は、診療前に預り金を徴求することも考えられます（人の医療では、しばしば見かけます）

・〈質問〉 予防注射を接種後今日はカードも現金も持ち合わせていないと言われそのまま帰られてしまった。治療でも同じことはあります。物品では「いつもここで治療しているのだからこれくらいだでもっていく」とフードを持ち帰られたこともあります。

→ 〈解答〉 詐欺又は窃盗として、警察に通報する

ことも検討ください。また、このような事態に遭遇した場合には、言われたまま何もしないのではなく、強い姿勢で抗議することが必要です。

- ・〈質問〉 分割にして欲しいと一部支払い後日連絡が取れなくなったケース。死亡したのもう支払う意味がないと今までのものも支払わずに終わったケース。治療された記憶がないと逆に切れられて終了したケースなどあります。
- 〈解答〉 初診時に身分証明書をコピーしたり、預り金を徴求することも考えられます。(人の医療ではしばしばあります)あと、後払いは原則認めないことを貫く方が、不払いリスクは減るものと思料します。
- ・〈質問〉 急病や急なケガ(骨折)などの場合は未払いのままになるケースが多いです。帝王切開で、お金がない、と言われて未収となった。
- 〈解答〉 ここをいかに厳しく対応するかが、未収金のリスクを軽減させます。
- ・〈質問〉 入院費を現金カードもなく後日支払う約束するが払ってもらえない。弁護士に頼むも、結局費用のほうが高くマイナスで回収できない。無銭飲食は罪になるが診療費の未収は逃げ得となることが多い。対策があれば教えてほしい。
- 〈解答〉 警察に通報することもご検討ください(未払いに厳しい動物病院とわかれば、二度と来なくなります)
- 〈解答〉 ビジネスの世界では、一定の確率で不払いは生じます(例えば、銀行や貸金業者においては、不払いになる人は相当数いますし、小売店の場合には万引きを完全にゼロにすることは困難です)。そのため、不払いをゼロにすることは困難であることを前提に、費用対効

果を踏まえて、未収金の回収策を講じることをお勧めします。

- ・〈質問〉 だいたい良いからと費用の概算を聞かれていて、結局それよりも高くなった時に「この前の金額と違うじゃないか」と泥棒呼ばわりするくらい強い口調で文句を言うてくる。
- 〈解答〉 見積もり段階で高めの数字を提示することをご検討ください。(予定より金額がかからなかったという結論は受け入れられやすいですが、追加料金を請求すると、飼主にとって抵抗感が強くなります。
- ・〈質問〉 術前に時間をかけて(30分以上)内容と金額を説明したにもかかわらず退院時に説明を受けてない高額だとクレーム。
- 〈解答〉 説明書(同意書)を交付し、サインをもらうことで、リスクを回避することは可能です。
- ・〈質問〉 氏名、携帯番号は正確でしたが、住所は偽りでした。術後の連絡等では電話にも出ていました。退院時に、支払いは抜糸時という事になりました。しかし、その後は抜糸に来ず、携帯に何回も電話しましたが、出る事はなく、本人が言った住所には存在していませんでした。県獣の顧問弁護士・警察に相談しても、相手が特定できず難しいとの事。警察では車のナンバープレートの番号が分かれば個人の特定制につながる可能性が高いとの助言で、駐車場に監視カメラを取り付けました。
- 〈解答〉 初診の段階で、身分証明書のコピーを取得する方法はあり得ます。
- 〈解答〉 携帯番号や車のナンバープレートの番号がわかれば、弁護士会照会で個人情報特定する可能性もごございます。
- ・〈質問〉 異物誤飲の手術をして、退院日に電話してもつながらず、家に行ったら夜

逃げの後だった。

・今持ち合わせがないと言われ、そのまま。電話もつながらず、住所も存在していなかった

・〈質問〉 年末にどこもやっていないのでとても助かったと感謝され入院を引き受け夜通し入院を続けた。正月明けに亡くなってしまったが、連絡すると旅行中でこれないとのことだった。そのまま火葬の依頼があり火葬したが、連絡したもののそれからずっと不在となった。年末年始は夜も仕事となりすべて未収となった。・・・等

→ 〈解答〉 初診の場合等、飼主との信頼関係が構築できない状況であれば、診療開始前に預り金を徴求することも考えられます。

・〈質問〉 患者さんとの長い付き合いの中、「次に支払う」という言葉を信じて 2～3 年経ってしまい度重なる未払いが 30 万円ほどになってしまい現在も未収のままである

→ 〈解答〉 未収を重ねることは、リスクが高いので、初期段階での回収を厳しくされることをお勧めします。あと、予約制にすることで、予約段階で未払金の請求をすることも可能です。

・〈質問〉 金銭トラブルすべてに関して、それぞれを追っかけることは全くしておりません。その方たちには、当院へ二度と来ていただきたくないものですか。

・〈質問〉 ホテル預かりの際に予定分の料金は頂いていたが、電話で延長の依頼があり、ホテル延長を行ったが、結局来なかった。犬は預かったままになり、未収となった。こちらから連絡するものの不在、引越ししていた。

・〈質問〉 債務承認・分割弁済契約書を使っているので未収はほぼありません。上記の未収は筋の悪い飼い主だったので、あえて未収にすることで縁を切るた

めです。

・〈質問〉 特に時間外、夜間の患者に未払が多い。
→ 〈解答〉 料金の先払いや預り金を徴求する方法、身分証明書の写しの徴求、クレジットカードを登録させる方法等の方法を講じることで、未収となる確率を下げることは可能です。(それでも、ゼロにはなりません)。

・〈質問〉 初めから支払う気がない人ほど、多くの検査を希望する。そのままにしておくと順に動物病院が損害を受けるので、こういった人の情報を共有出来るような対策をしてほしい。

・・・等

→ 〈解答〉 他の業界でも、不払いを起こした顧客リストを業界で共有することのニーズがありますが、残念ながら、現行の個人情報保護法の枠内では認められておりません。

・〈質問〉 携帯電話のみの登録も増え連絡が取りにくくなっているケースもあります。

→ 〈解答〉 勤務先を記載させる方法、身分証明書の写しを徴求する方法も考えられます。

・〈質問〉 未収金被害の救済制度がないか知りたい。

→ 〈解答〉 現状、ありません。(ビジネスの世界で、未収リスクがないことの方が少ないです)

・〈質問〉 3万円未満が多いですが、気持ち的に少額でもこちらの仕事に対する価格なので支払ってもらいたい。年に1度督促状を出すのですが、支払う人はあまりいません。皆さんどうしてるのか知りたいです。

→ 〈解答〉 回収にはコストがかかりますので、費用対効果を踏まえて対応を選択することが一般的です。あと、一定の確率で未払が生じることを前提に、価格を設定することも検討に値します。

獣医療に関する法律ひろば：アンケートについて

みらい総合法律事務所 小堀 優

こんにちは。弁護士の小堀です。

先日、(一社)日本小動物獣医師会が、会員の先生の皆様へ「獣医事トラブルに関するアンケート」と実施しました。

多くの皆様より、ご回答を頂き、ありがとうございました。

アンケートで多く記載がありました内容について、本コラムで紹介させていただきます。

1. スタッフの対応についてのトラブルについて

(1) まず、スタッフの業務態度に問題があり、その対応に苦慮されているケースが散見されました。アンケートでは、「言葉使いが良くない」「専門雑誌を読む努力をしない(知識習得に向けた努力をしない)」「態度が悪い」等といったものが見受けられました。

(2) 会社では、就業規則や、人事考課の基準等、人事関連規程を整備していることが一般的ですが、動物病院の場合は、少人数で運営をされていますので、そこまで追い付いていないことが実情かと思われます。

就業規則を制定し、従業員の服務規律(そしてその規律に違反した場合の処分)について条文で明確にすることが望ましいですが、就業規則の制定が難しいようであれば、最低限の対応として、採用時の雇用契約書において、スタッフが守るべき服務規律と、違反した場合の不利益処分(解雇等)について、条文に定めておく方が良いでしょう。

(3) 次に、スタッフの業務態度が悪い原因を深掘りすると、待遇面での不満や、労働環境、周囲との間の人間関係に問題があることも、しばしば見受けられます。

獣医療の業界では、獣医師は夜間・休日でも病気のペットがいれば診療行為に全力を尽くすという意識があるかと思えます

が、全てのスタッフがそう考えているとは限りません(むしろ、労働法規に違反しているとして、不満に思うこともあり得ます)。また、獣医師(経営者)がスタッフに対して専門的知識の習得を期待していても、実際の待遇が専門職に見合ったものではない(乖離がある)ケースや、上司の言動に問題があるために、部下がその行為を真似て、他人に対する態度が悪くなってしまうというケース等も散見されます。

このように、スタッフの行為だけに着目すると、属人的な問題しか見えないですが、幅広く問題点を探してみると、組織としての課題が見えてくることも多いので、意識してみるとよいでしょう。

2. 未収金問題について

(1) 今回のアンケートでも、未収金の問題についてのご意見を多く頂きました。

「治療費を払ってくれない」という典型的な事例のほか、ペットフード等の販売において、先に商品を提供(郵送)したにもかかわらず、飼主が代金を支払ってこない、飼主が他の店より高いと主張して差額を支払わない等の事例もありました。

(2) せっかく、獣医師の先生方が時間と労力を提供して、全力で診療行為をしたにもかかわらず、一部の心無い飼主が治療費を支払わないという事態は、獣医師やスタッフの心情を傷つけるものと思料します。

未収金を避けるための試みとしては、①完全予約制にする方法、②預り金を徴求する方法、③クレジットカードやICカード(Edy、nanaco、SUICA等) PayPay等、現金払い以外の決済方法を活用する方法等、様々な工夫がなされていると伺っています。

また、ペットフード等の物販では、先に商品を顧客に提供することはリスクがあるため、BNPL¹等の一部の例外を除き、先払いとする方が一般的です。

これらの施策を講じることにより、顧客（飼主）の利便性が下がってしまう（ひいては、売上のマイナス要因になる）可能性はありますが、「現金の掛け売り」というビジネスモデルは、他の業界では少なくなっているかと思われますので、未収金発生の可能性を低減させる施策を講じることもあり得るのではないかと考えます。

- (3) 次に、実施に未収金が発生してしまった場合ですが、重要なポイントとしてお伝えしたいことは、「債権回収にはコストがかかる」ことです。

すなわち、債権回収を本格的に実施するためには、請求書の送付、交渉、訴えの提起、判決後の強制執行等、様々な対応をしなければなりません。これらの作業をするには、時間もかかりますし、債権回収に関する専門知識も必要です。当然のことながら、これらの作業を弁護士や司法書士にアウトソーシングするのであれば、費用が掛かります。

そのため、債権回収をするためには、①

手間、時間、費用というコストがかかることを念頭に、②債務者（未払いの飼主）からの回収可能性を考慮したうえで、費用対効果を見極めることが必要です。

動物病院における年間売上高のうち、未収金による貸倒損失の額および割合を考慮して費用対効果を見極めると、検討がしやすいかもしれません。例えば、未収金の額が10万円だったとして、弁護士や司法書士に回収を委託することや、訴訟を提起することは、費用対効果に合わないかもしれません（もちろん、コストをかけてでも、断固たる対応をする判断もあり得ます）。また、仮に年間売上高が5000万円、そのうち未収金による貸倒損失が10万円だったとすると、貸倒損失の割合は単純計算で0.2%ですので、診療報酬の値上げによる売上増や、他のコストカットで吸収する方が、効率的かもしれません。

- (4) BtoC ビジネスにおいては、一定の確率で不払いが生じることは避けられません。

そのため、上記(2)の「未収金が生じる可能性を低減させる施策」を講じつつ、そのうえで、上記(3)で述べました費用対効果を踏まえた経営判断をすることも、検討してみてよいのではないかと考えます。

以上

BNPL (Buy Now Pay Later) とは、指定された日までにコンビニで支払う、あるいは指定された銀行口座に購入額を振り込む等、商品の購入代金を後日支払う決済方法です。クレジットカードを持っていない場合でも、商品を購入できる決済方法であり、近時、ネットショッピングの業界で多く用いられています。

獣医師のための法律相談

- 獣医療過誤
- 飼い主との間のトラブル・クレーム対応
- 従業員との間の労働問題
- 獣医療広告のチェック
- 事業承継、M&A・・・動物病院を運営するにあたって、お困りではありませんか？

獣医療に精通した弁護士が、獣医師が直面する、様々な法律トラブルに対応致します。

みらい総合法律事務所
〒102-0083 東京都千代田区麹町2丁目3番
麹町プレイス2階
TEL:03-5226-5755/FAX:03-5226-5756
<https://www.mirailaw.jp/>

弁護士 西尾 孝 幸
弁護士 小堀 優

法律相談・セミナー等
全国のご相談を承ります。



ニュース & インフォメーション

身体障がい者補助犬募金の振込について

一般社団法人日本小動物獣医師会
動物愛護・社会福祉委員会

身体障がい者補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）の健康維持管理を 支援するための募金箱を設置頂いている会員の皆様

ご協力に対してこの場をお借りして心より感謝申し上げます。

また、募金頂いております多くの方々にお礼申し上げますとともに、募金を有効に活用させて頂くことをお約束いたします。

- *募金に関しましては、原則として、9月と3月に振り込んで頂くようお願い申し上げます。
- *振り込みに関しましては、振込用紙又は郵便振替口座番号：00160-3-31900
加入者名：一般社団法人日本小動物獣医師会に振り込みのほどお願いいたします。
- *会員の皆様で新たに募金箱の設置をお考えの方は、事務局にご連絡ください。
- *募金箱の撤去した場合も、事務局にご一報いただくと助かります

【お問い合わせ先】

一社) 日本小動物獣医師会 事務局
〒105-0004 東京都港区新橋5-12-2-5F
TEL (03)5843-7548 <http://jsava.org>
※質問等は、当会ホームページの「お問い合わせ」をご利用願います。

動物愛護・社会福祉委員会

- 委員長 松本明彦（松本動物病院・広島）
- 副委員長 崎山玲子（ちよだ動物病院・神奈川）
- 委員 青木泰道（青木獣医科医院・神奈川）
- 委員 太田雄一郎（港南動物病院・神奈川）
- 委員 大門由美子（大門動物病院・福井）



新規入会会員 (敬称略)

入会日：令和6年6月1日～令和6年10月31日

所属	氏名	〒・住所	院名	電話
北海道小動物臨床研究会	柳本 菜希	〒004-0022 札幌市厚別区厚別南 3-2-7	札幌総合動物病院	011-893-7171
北海道小動物臨床研究会	九島 聡一	〒041-1121 亀田郡七飯町大中山 1-7-13	九島動物病院	0138-65-0828
日本小動物獣医師会 千葉県支部	会川 茂樹	〒270-0164 流山市流山 3-381-3	アーニー動物病院	04-7158-5919
日本小動物獣医師会 千葉県支部	安中 篤史	〒270-0152 流山市前平井 177-1 プロシード TX 流山 流山セントラルパーク店舗 0002	あんなかどうぶつ病院	04-7179-5712
静岡県獣医師会	芳賀しげり	〒438-0045 磐田市上岡田 942-4	オーシャン動物病院	0538-31-2311
愛知県獣医師会	鵜海 敦士	〒470-2405 知多郡美浜町河和台 1-35	みはま動物病院	0569-82-0432
日本小動物獣医師会大阪府支部会	福井 博崇	〒577-0809 東大阪市永和 2-20-25	福井獣医科病院	06-6721-2590
兵庫県開業獣医師会	長崎 鉄平	〒676-0072 高砂市伊保港町 2-6-1	グラン動物病院	079-446-5544
兵庫県開業獣医師会	伊東 理実	〒676-0072 高砂市伊保港町 2-6-1	グラン動物病院	079-446-5544
兵庫県開業獣医師会	大山 一郎	〒669-2202 丹波篠山市東吹 330-1 第2 ファークスビル 101	おおやま動物病院	079-556-7181
和歌山県臨床獣医師会	嶋本 良則	〒640-0415 紀の川市貴志川町長原 1051-10	ひらいけ動物病院	0736-67-7575
岡山県獣医師会	加島 実	〒706-0221 玉野市八浜町八浜 1477	玉野 IC 動物病院	070-8323-4353
広島県小動物開業部会	柴崎 祐也	〒732-0066 広島市東区牛田本町 1-10-35	柴崎動物病院	082-228-0359
広島県小動物開業部会	松島 伸昭	〒732-0054 広島市東区愛宕町 3-27-1F	キャットクリニック広島	082-258-2289
広島県小動物開業部会	松本 幸雄	〒730-0813 広島市中区住吉町 3-3	松本動物病院	082-246-0210
広島県小動物開業部会	横山 貴之	〒733-0831 広島市西区扇 2-1-1 カインズ 2 階	ようきペットクリニック	082-276-5666
広島県小動物開業部会	廣田 瑞保	〒735-0021 安芸郡府中町大須 2-1-1 イオンモール広島府中 3 階	ペテモ動物病院広島府中	082-569-4811
広島県小動物開業部会	松村 晋吾	〒738-0034 廿日市市宮内 4317-5	松村動物病院	0829-30-7770
個人会員	三谷 藍	〒745-0869 山口県周南市東北山 1-2-15	三谷獣医科病院	0834-32-2131
個人会員	中嶋 佑治	〒535-0003 大阪府大阪市旭区中宮 5-6-28	ナカジマ動物病院	06-6954-1010
個人会員	上総 洋子	〒136-0071 東京都江東区亀戸 3-60-21	(株)コジマ亀戸動物病院	03-3685-0200
準会員・勤務医	寺尾 岳栄	〒939-2716 富山県富山市婦中町下轡田 476	あらい犬猫病院	076-465-6177
準会員・勤務医	光本 恭子	〒590-0412 大阪府泉南郡熊取町紺屋 2 丁目 1-3	泉南動物病院	072-453-0298

令和6年度上半期補助犬募金協力病院一覧

平素より、身体障がい者補助犬募金にご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。
多くの方々のご厚意を賜りましたこと、心からお礼を申し上げます。

【令和6年4月1日～令和6年9月30日】

日付	所在地	病院名および氏名(敬称略)	金額
4月1日	北海道	22条動物病院, 西川ひろみ/募金	30,000
4月2日	千葉県	松葉町どうぶつ病院/募金	15,142
4月2日	岐阜県	アイランドペットクリニック, 酒匂誠司	5,100
4月3日	広島県	(株)海田ハダ動物病院, 波多静則	39,149
4月9日	埼玉県	田口動物病院, 田口正行/ 寄付	10,000
4月9日	北海道	おがの動物病院/募金	13,658
4月10日	神奈川県	港南動物病院/募金	18,907
4月11日	栃木県	萱嶋動物病院/募金	50,000
4月25日	新潟県	(有)松井動物病院/寄付	10,000
4月26日	埼玉県	ナカムラ動物病院, 中村誠一	20,627
5月2日	北海道	犬と猫の診療所/募金	60,178
5月7日	大阪府	さとう動物病院, 佐藤光晴/募金	45,620
5月9日	和歌山県	アイリス動物病院/募金	4,000
5月13日	京都府	みなせ動物病院	19,931
5月20日	群馬県	アリス動物病院/募金	21,859
5月20日	群馬県	アリス動物病院/寄付	28,141
5月28日	栃木県	やまびこ動物病院/募金	23,991
5月28日	栃木県	やまびこ動物病院/寄付	3,009
5月29日	静岡県	高丘動物病院/募金	64,000
6月3日	大阪府	会亀動物病院, 会亀昭夫/募金	15,000
6月7日	兵庫県	豊岡こころ動物病院, 建内裕貴	10,749
6月24日	新潟県	川島動物病院	13,806
6月24日	埼玉県	桑島犬猫病院/募金	10,401
6月26日	栃木県	後藤愛犬病院, 矢部真人	50,000
6月26日	新潟県	こいで動物病院, 仲村龍弥	30,447
7月1日	栃木県	なかじま動物病院/募金	12,400
7月4日	岐阜県	杉田動物病院, 杉田泰朗	65,000

日付	所在地	病院名および氏名(敬称略)	金額
7月9日	大阪府	田中動物病院	19,000
7月10日	千葉県	とらみ動物病院	31,000
7月17日	新潟県	エンジェル動物病院	20,000
8月1日	京都府	あいあい動物病院	1,000
8月1日	大阪府	モコ動物病院	3,099
8月13日	和歌山県	アイリス動物病院	5,000
8月20日	福岡県	パル動物病院/募金	25,471
8月22日	大阪府	大野台どうぶつ病院, 平井収/募金	18,933
8月23日	広島県	パル動物病院/募金	72,500
8月26日	埼玉県	高橋犬猫病院/募金	4,960
9月3日	広島県	とも動物病院/募金	12,571
9月10日		イイズカドウブツビョウイン/ 聴導犬・介助犬へ	33,974
9月12日	沖縄県	にしざきペットクリニック/ 盲導犬へ	20,092
9月13日	鹿児島県	浜崎獣医科医院, 濱崎篤宏	10,000
9月13日	東京都	永山動物病院/募金	10,370
9月18日	福島県	ひまわり動物病院	5,001
9月23日	宮城県	佐藤順子	12,835
9月24日	群馬県	アリス動物病院, 蘭日出哉/募金	25,970
9月24日	群馬県	アリス動物病院, 蘭日出哉/寄付	24,030
9月24日	北海道	犬と猫の診療所	24,655
9月25日	広島県	(有)松本動物病院, 松本明彦/募金	43,343
9月25日	広島県	(有)松本動物病院, 松本明彦/寄付	100,000
9月25日	広島県	平野動物病院/募金	60,000
9月26日	広島県	(株)こうじば動物病院	5,711
9月27日	京都府	(有)FAMC, ID アニマルメ ディカルセンターファミリー 動物病院/募金	22,852
9月30日	広島県	村井獣医科医院/募金	15,147
		募 金 金 額	1,318,629

編集後記

過去には「トリミングは動物病院の行う仕事ではない」と言われていて、併設する場合も入り口を別に設けたりしていましたが、今ではトリミングも当たり前動物病院の業務の一つとなっているようです。私の病院ではトリミングをする気はありませんが、それでも爪切り程度は頼まれます。診察や予防の便に行うことが多かったのですが、最近は爪切りにだけ来院される飼い主さんも増え、違和感があります。

特に最近は、猫の爪切りが増えました。猫の爪切りは、引っ搔かれて痛いなど飼い主さんの都合によるものと思っていて、何の問題もない猫の爪切りには疑問を持っていました。しかし、最近、健康管理のためのケアとして必要と書かれている書籍やネットもあるようで、無下には断れません。とはいえ、爪切りを診察と言っていいのか悩みます。以前は、初診料も頂いていましたが、「爪切りだけお願いします」と念を押されることも有り、初診料、再診料といった診察料は頂かないことにしています。

他にトリミングをしていなくても、トリミング関連では耳掃除と肛門嚢絞りを頼まれることもあると思いますが、これらは診察や獣医療に含めることには抵抗はありません。話は違いますが、毎月、ノミの駆除薬の滴下に来られる飼い主さんがおられます。こちらは、診察料は頂きにくいです。

以前は、爪切りもノミ駆除も、診察台に載せたら何らかの診察はしますので、診察料が発生していたのですが、多くの飼い主さんは診察を希望されていないようです。診察もしていないのに診察料を頂くのも抵抗がありますが、動物

病院で診察料がないことにも違和感があります。

鯉恋

令和7年が幕開けしました。今年は終戦から数えて丁度80年となります。先日、youtubeを見ていたら、日本史タイムリープニュースというチャンネルで、玉音放送の現代語訳をキャスターが読み上げる動画が流れてきました。

「堪え難きを耐え忍び難きを忍び・・・」というフレーズが有名で頭に残っていましたが、恥ずかしながら玉音放送の中身を今まで考えたり知ろうとしたことはなく、

この動画を見て初めてこの玉音放送に込められた昭和天皇のおもいと、「堪え難きを耐え、忍び難きを忍び」の意味が少しは理解できたように思います。

特に、最後の3段落については、若いときにその意味を知る機会を得ていたなら、生き方自体に大きな影響を与えたと思えるほど、強烈なインパクトがありました。

新しい年を迎え、社会人として独り立ちしていく息子とともに、今年1年初心に還りどのように過ごしていくかを考えながら正月休暇を過ごしたいと思います。

(チタン噛めん)

2016年に熊本地震で被災して、すでに8年が経過しました。熊本市の東の端から、今の水前寺に移転して、もうそんなになるんだなあ...とっていました。ついに、今年7月に当病院の隣にある熊本競輪場が再開しました。ある程度予測はしていましたが、病院の前の道路は競輪開催日は渋滞で困っています。10月3日から

は久しぶりにG3の記念大会があり、病院の前は大渋滞でした。幼い頃から競輪開催日はこの道路は通らないと決めていたのに、実際に開催日の渋滞にハマるのは初めての経験でした。同級生の競輪選手がG1などの記念レースに出場するときにはバイクで競輪場に行ってたし、どうしても行くときには、混まない道路を選んでいました。実際、いまの場所に病院を構えてしまうと、このような場所で色々な商売をしている人の大変さがわかりました。

この文章を書いているときまでに、数回競輪が開催されています。こうなったら、これを楽しむしかないと思い、開催日で観客が入れるときには、なるべく競輪場に行って、うちの病院にペットを連れて来られる選手を応援することにしました。同じような考えの人が多いのか、近所の商売をされている人たちがいっぱいだし

た。考えることはみんな同じなんだと思いました。

競輪を楽しむとなると、私は昔から競輪とは妙に繋がりがあり、同級生、友人の弟、先輩、後輩にも多くの競輪選手がいます。しかし、皆、すでに引退しています。現役時代に車券を買うことができないからか、今になって車券を買いたい元選手たちともよく会います。競輪の予想紙を書いている伝説の予想屋さんうちの患者さんで、よくお会いします。こんな人たちと競輪場や病院で会うことも楽しみのひとつとなっています。

その結果、私も普通に車券を買って、当たることもあれば、外れることもあり、ドキドキしながら楽しんでます。病院をあつ何年続けていくか分かりませんが、診療しながら競輪を楽しんでいきたいと思ひます。

(コーラ飲みの糖尿病患者)

二人に一人が、がんにかかる時代ですが・・・
私たちは、

がんは予防するものだと考えます！



←詳細はこちらをご覧ください。
QRコードが読み取れない場合、
お電話でお問い合わせください。



Met Planning Co.,Ltd.

〒542-0081 大阪市中央区南船場1-3-14-706
電話06-6271-3321



J S A V A N E W S No.183

編集発行 一般社団法人日本小動物獣医師会

〒105-0004 東京都港区新橋5-12-2 鴻盟社ビル5階

TEL (03) 5843-7548 FAX (03) 5843-7549

印刷 株式会社 文洋社



動物用医薬品 **要指示** **指定**
犬膀胱炎急性期用抗炎症剤

ブレندا® Z



製造販売者  **日本全薬工業株式会社**
ZENOAQ 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

ブレندا及びBRENDAは石原産業株式会社の登録商標です。
ブレنداZは石原産業株式会社と日本全薬工業株式会社の
共同開発により、製造販売承認を取得しました。

trovan®

Made in Germany

大切な家族を守るために トロバン社のマイクロチップ

トロバン社：【信頼と実績】

1989年創業。RFID識別の先駆的メーカーで、動物用マイクロチップ市場においては世界で最も多く使用されているブランドです。ドイツ製。**trovan**マイクロチップは高い信頼性で世界の主要動物園、大手の製薬会社の治験などで数多くご利用いただいています。もちろんコンパニオン・アニマルにも。**trovan**はアメリカン・ケネルクラブ(AKC)の正規マイクロチップとして採用され、イヌ ネコに広く利用されています。



アメリカン・ケネルクラブ

trovanトロバン

動物用マイクロチップ
ISO型ミニ(1.4)
単回使用の穿刺針に
おさめられています

¥990 (税込)/個

実物大



インプランター IM-200(1.4)
ミニ(1.4)用で、繰り返して使用できます

¥660 (税込)/個



お問合せ：

サージ ミヤワキ株式会社 東京都品川区東五反田1-19-2 Tel: 03-3449-3711 Fax:03-3443-5811